

平成 29 年度 地域ケアプラザ事業報告書

■ 施設名

横浜市星川地域ケアプラザ

■ 事業報告

1 全事業共通

(1) 地域の現状と課題について

星川地域ケアプラザエリアの中心部には相鉄線が走り、星川、天王町駅がある他、市営バスの保土ヶ谷営業所があるため、バスの本数も多く、利便性に優れています。

区役所や図書館、保育所、福祉関連施設なども多く集まっています。松原商店街やイオン、コーナン、いなげやなど買い物をする場所も充実しており、暮らしやすい地域です。エリア内には介護サービス事業所が数多くあり、介護が必要になった際もスムーズに利用につながっています。

一方で、国道 16 号線があるため交通量が多く、子育て世代には不安要素の一つと言えます。又、勾配の急な山坂のある地域は、特に高齢者にとって移動が困難となっています。天王町駅周辺では、帷子川の水害が危惧されており、大雨や地震に伴う津波などの際には、高齢者など災害弱者の速やかな避難が課題となっています。

自治会・町内会館などの地域活動拠点は、和室や階段のある構造となっており、足腰が弱ると利用しにくくなります。

認知症サポーター養成講座開催の際に、今後の活動について受講者とともに考える機会を持ち、その結果、サポーターとキャラバンメイトにより認知症を考える会「ネーブルの会～みんなで認知症を考える会～」が 28 年度に発足しました。今年度は「ネーブルの会～みんなで認知症を考える会～」主催で認知症の人も気軽に集える会として定期的に「ネーブル倶楽部」を開催しました。

【中央地区連合町内会】

(ア) 川辺町は戸建てが少なくマンション世帯が多い地域です。若い層が多く、高齢化率も中央地区で最も低い 19.8%です。自治会組織の無いマンションが数か所あり、全体の自治会加入率が低くなっています。特に市営川辺町住宅は、高齢者の転入も多く高齢化率は高いですが、老人クラブがありません。その為、住民主体で定期的に集まる場を作りました。孤独死の不安を感じている住民が多く、見守りネットワークの構築を進めました。

(イ) 峰岡町 1～2 丁目の坂の上の方面は、車両が入り込めないような道幅の狭い箇所が多数あります。坂の中腹のエリアの高齢者は外出に際し階段昇降が必須であり、足腰が弱ると外出が困難となるために自宅に近い自治会館などを会場に講座を開催しました。

峰岡 1 丁目は住民主体での活動としてサロン、グランドゴルフ、お助けマンなどが活発に行われていました。

峰岡 2 丁目は高齢者対策福祉部会が定期的に開催されており、自治会、民生委員児童委員、あんしん訪問員により地域住民の情報共有が図られていました。

(ウ) 宮田町はバスを使うと横浜駅へは出掛けやすく、松原商店街もあり生活に便利です。反面、山坂が多く星川地域ケアプラザまで徒歩で 10 分以上かかる為、ケアプラザで行う事業に参加しにくい状況であり、又、高齢化率 26.8%と高いため、地域で事業開催し、住民同士、また職員とも顔の見える関係作りが必要なため、自治会町内会役員や老人クラブ役員と共に、新たな活動の立ち上げを支援しまし

た。

- (エ) 天王町団地は外国籍の住民が多く、集いの場が少ないため住民同士のコミュニケーションがとりづらい状況であり、過去には孤独死もあり住民同士のつながりや支えあいの必要性を感じたため、地域ケア会議を開催し、自助・互助の仕組みづくりを検討しました。

天王町スカイハイツはエレベーターが各階止まりではない構造で、足腰が弱ると外出が困難となりますが、敷地内で盆踊りや鯉のぼりなど、自治会活動が盛んに行われました。

天王町町内会は伝統ある地域で、今年度も流しそうめん大会など町内会の行事が盛んに行われ、大勢の参加者で賑わっていました。坂などがなく平坦な土地であることやイオン、シルクロード商店街があり、住みやすい町となっています。

- (オ) 地域と共に第3期福祉保健計画地区別計画の目標である、『笑顔で声を掛け合い、心通い合う活気あふれる安全で安心な街』を推進するため、介護予防教室やウォーキング、体操など、さまざまな行事を計画し実施しました。

【岩間地区連合町内会（星川地区）】

- (ア) 星川1丁目は昔からの住民など戸建てが多い地域です。次世代の担い手づくりにも力を入れており、盆踊りや運動会などの自治会活動が盛んに行われました。

一方、がけ崩れの危険箇所があり、大雨のときには避難勧告が出されることがありました。また、毎月定期的に開催している「ひまわりの会」は参加者の高齢化が進んでいますので、課題となる介護予防や権利擁護などの講座を共催で進めました。又、自治会長や民生委員児童委員など地域のキーパーソンと、見守り活動や地域課題について情報共有や話し合いをすすめました。

- (イ) 星川2丁目は高齢者に限らず住民が集える場が少ないので、民生委員児童委員が主体となって「サロン星の和」を立ち上げました。参加者の特技を活かした活動を行っています。一方、老人クラブは会長の後継者が見つからず、活動が継続できなくなりました。

- (ウ) 星川3丁目は民生委員児童委員が主体となり、住民が集える居場所である「サロンはなみずき」を開催しました。住民が関心を持つ内容を一緒に考え、活動を支援しました。

- (エ) 明神台地区は戸建てが少なく市営住宅とUR住宅が立ち並んでいます。勾配の急な坂の上にある為、足腰が弱まると高齢者は、敷地外への外出が困難な状況です。市営住宅は高齢化率50パーセントと高く、相談件数が増えています。ボランティアグループが立ち上がり、3年目を迎えて居場所づくりや生活支援の活動をしています。担い手が高齢化する中で、市営住宅とUR住宅の連携による新たな担い手の育成が求められており、課題解決のため民生委員児童委員との話し合いを重ねました。

- (オ) 地域と共に第3期福祉保健計画地区別計画の目標である『ゆるやかなつながりのあるまち岩間地区をめざして』を推進するため、「見守りホルダー」の実施に向けて実行委員会と作業部会で話し合いを重ね、30年度実施に向けて準備をすすめました。

(2) 相談（高齢者・子ども・障害者分野等の情報提供）

- (ア) 地域住民からの相談を職員間で共有し、地域課題の把握に努め、適切な事業展開に結び付けました。初回相談の総合相談票は所長、地域包括支援職員、生活支援コーディネーター、地域交流コーディネーターで共有し、相談対応だけでなく地域状況の把握につなげました。子育てや障がいの相談については別途独自の相談票を作成し、職員間で内容を共有し、専門性を活かした支援につなげました。
- (イ) ケアプラザが地域に暮らす皆さまの相談窓口であるよう、ちらしを作成し、事業や地域行事等で積極的に周知しました。また星川地域ケアプラザ広報紙「かるがも通信」には、地域包括支援センターや子育て支援等のコーナーを設け、情報提供に努めました。
- (ウ) 地区社会福祉協議会、民生委員児童委員協議会と連携して地域課題の共有に努めました。また、所長、地域包括、地域交流、生活支援担当職員で会議を毎月定例的に行い、密な情報交換を行いました。
- (エ) シニアクラブや食事会などの地域行事には積極的に参加し、情報収集に努めました。
- (オ) 包括レベル地域ケア会議に際して、個別課題地域ケア会議から抽出された課題だけではなく総合相談から見えてくる課題の抽出も行い、地域課題に対する取り組みの支援を行いました。
- (カ) 毎月実施している「子育て広場」では、アンケートをもとに当事者のニーズにあったテーマ設定を行い、子育ての悩みを軽減できるように努めました。また、特別支援療法士を講師とした「かるがも☆こころのリズム教室」を定期開催し、子どもの発達に悩みのある保護者の相談や子どもとの接し方を学ぶ機会を提供し、子育て中の母親が孤立しないように支援しました。

(3) 各事業の連携

- (ア) 地区社会福祉協議会、民生委員児童委員協議会の会議、研修等に参加して、地域課題の共有に努めました。また、協議体の開催や地域行事へ積極的に参加し、関係構築強化や情報収集に努めました。
- (イ) 毎月開催の会議で地域の情報交換を行い、地域アセスメントシートによる地域の把握に努め、ケアプラザまで出向くことが困難な地域を中心に出席講座や出張相談会を実施しました。また、地域アセスメントからの課題抽出や地域ケア会議開催により、地域課題に向けた適切な支援を展開しました。
- (ウ) 認知症当事者・家族支援に向け、「ネーブルの会～みんなで認知症を考える会～」と協働して認知症カフェ、認知症サポーター養成講座を実施しました。

(4) 職員体制・育成、公正・中立性の確保

- (ア) 常時相談受付対応ができる体制として窓口当番の職員を配置して、相談のために来館した方の対応をしました。地域包括担当職員が不在の場合でも介護支援専門員や他部門の職員が初期対応し、その後地域包括担当職員につなげて迅速な対応を行いました。また、貸室や事業対応についても、変更や新規の取り組みなどの際には所内周知を図り、ケアプラザの職員が誰でも対応できるよう情報共有に努めました。
- (イ) 法人本部と連携し、コンプライアンスの遵守と個人情報等のリスクマネジメントに関する研修を実施しました。
- (ウ) 外部研修にも積極的に参加できる勤務体制としました。参加できなかった職員には伝達研修や報告書を用いた周知を行いました。
- (エ) 相談に際して情報提供の偏りが無い様に、複数事業所の情報提供や資料の交付を行いました。また、相談者が判断・決定できる様に情報提供し、支援しました。

(5) 地域福祉保健のネットワーク構築

- (ア) 地区社会福祉協議会、ほっとなまちづくり推進チーム、地区懇談会等に参加し、各地区の第3期保健福祉計画地区別計画実現に向け支援しました。
中央地区では、民生委員児童委員に偏りがちな懇談会に町内会長や保健活動推進員、若いお母さんのグループである「かわべっこキッズ」など、新たな担い手の参加が得られました。
星川地区では、「見守りホルダー」の導入に向けた実行委員会が立ち上がり協働して取り組むことができました。
- (イ) エリア別子育て支援連絡会では事務局の一員として関わり、連絡会の充実した活動に向けて積極的に取り組みました。外国籍の親子が多いという特徴ある地域がエリア内にあり、コミュニケーションに課題を抱えていることが分かりました。
そのため、国際交流ラウンジと連携して学習会を実施し、多文化共生の理解に取り組みました。「ほっしいーのわいわいフェスティバル」では、子ども連れでも安心して過ごせる場を提供。子育て支援情報の提供や子育て中の母親の活動発表を行いました。
- (ウ) ほっとフレンズ実行委員会では区内地域ケアプラザ、施設、学校、区社会福祉協議会、区役所と連携して地域の学齢障がい児の余暇支援事業を実施しました。会を重ねることにより、リピーターで協力してくれる若い学生や地域の方が増えました。
- (エ) 保健活動推進員と連携した体力測定やウォーキング、さわやかスポーツ普及委員と連携したスポーツ体験など、地域に根差した健康作り事業を行いました。
- (オ) 平成28年度に発足した「ネーブルの会～みんなで認知症を考える会」と連携し、認知症カフェ「ネーブル倶楽部」を偶数月で定期開催しました。地域の介護者がほっと一息つける場、認知症を理解する場として定着してきました。
メンバーのキャラバンメイトとしての活動機会も増え、オリジナル台本による「認知症サポーター養成講座」を開催するなど特色ある活動ができました。

(6) 区行政との協働

- (ア) 地域アセスメントシートで把握した地域情報や抽出された地域課題を岩間地区、中央地区の支援チームで共有し、第3期地域福祉保健計画の実現に向け、積極的な地域支援を行いました。
- (イ) 月1回開催の区カンファレンスにおいて地域情報共有や、個別ケースの情報共有・支援検討をしました。また、随時連絡を取り合いながら、同行訪問やケースカンファレンスへ向けた協働をしました。
- (ウ) 「かるがも☆こころのリズム教室」を年10回定期的に開催し、こども家庭支援課と連携しながら、発達に心配のある子どもと保護者を支援しました。

2 地域活動交流事業

(1) 自主企画事業

- (ア) 受益者負担の観点で、健全な事業運営を行いました。
- (イ) 参加者アンケートを活用し、ニーズに沿った事業を展開しました。昨年に引き続き、近隣のスポーツ施設メガロスと連携し、高齢者を対象とした介護予防の体操教室を開催しました。
- (ウ) 事業参加者の得意とすることを生かし、「ほっしいーのわいわいフェスティバル」で体験コーナーにつなげました。貸室団体の特技を活かし「パパと一緒にクッキング」や「夏休み浴衣の着付け教室」、子育てひろばでの講師役など地域が主役の事業展開を心がけました。
- (エ) 第3期地域福祉保健計画地区別計画の実現に向け、地区社会福祉協議会と連携し

た出張講座を開催しました。また、保健活動推進員と共催でウォーキング事業を開催しました。「子ども寺子屋」や「子育て広場」では、シニアボランティアや「サロンほしかわ」の参加者の力を活かし、異世代交流を図りました。

(オ) 障がい児余暇支援活動事業では、区内ケアプラザや障がい支援事業所等と連携し、参加者のニーズが多かった外出支援や運動系の余暇支援を実施しました。

(2) 福祉保健活動団体等が活動する場の提供

- (ア) 地域の福祉保健活動団体の活動拠点としての貸室利用について館内掲示や広報紙等で紹介しました。
- (イ) 貸室団体交流会では活動の励みや活力を得られるよう、団体の福祉保健活動を積極的に紹介し、人的交流やノウハウを共有する機会を提供しました。
- (ウ) 子育て支援事業や介護予防事業、地域のサロン等、積極的に紹介し、団体の特技を生かした活動の機会を提供しました。また、広報紙やかるがも内掲示板などで団体の活動を積極的に紹介しました。

(3) ボランティアの育成及びコーディネート

- (ア) シニアボランティアポイントカードの取得をきっかけに、65歳以上の地域の元気な方にボランティア活動の機会をコーディネートし、生きがいや社会交流につなげることができました。
- (イ) 貸室利用登録団体には特技を生かしたボランティア活動を積極的に働きかけました。参加者に喜んでもらうことが団体の活動の励みになり、貸室団体交流会やかるがも通信でも紹介しました。
- (エ) 個人宅の草取りや包丁とぎ講座など、地域での様々な活動を行っているボランティアグループ「男助っ人隊」の自主活動を支援しました。
- (オ) 区ボランティアセンターと連携し、ボランティア活動の場を提供しました。

(4) 福祉保健活動等に関する情報収集及び情報提供

- (ア) 地域の行事や会合には六職種で分担して参加し、地域住民との関係性を築く中で得た地域のインフォーマルな情報は総合相談の際に相談者に情報提供しました。
- (イ) ケアプラザの広報紙「かるがも通信」やホームページ、「ほどびよメール」を活用し、情報発信しました。
- (ウ) ネーブルの会メンバーとともに地域に出張し、認知症サポーター養成講座や予防のための運動の紹介に取り組みました。
- (エ) 小中学校の福祉体験は積極的に受け入れ、かるがもの施設見学や通所介護事業で高齢者との交流を通し、福祉教育に取り組みました。

3 生活支援体制整備事業

(1) 事業実施体制

(ア)自治会町内会行事や老人クラブ、サロンなどの集いの場など、活動日時が分かる一覧表を作成しました。年1度の行事は地域の方々から情報収集をして積極的に参加しました。参加することで顔の見える関係を継続することができ、その場で地域の良さや課題も教えてもらえるようになりました。例えば、集いの場を展開し認知症予防や楽しみを感じられるような企画を立てる悩みがある町内へは、看護師が企画した事業案内をして「スリーA」というプログラムを学べるよう呼び掛けました。学んだことが各町内の集いの場で活かせるよう、活動の場に出向いて進行や取り入れ方の支援をしました。

(イ)高齢者一人ひとりができることを大切にしながら暮らし続けられるための多様な主体が連携・協力する地域づくりを目指しました。

星川地区のサロン活動の後方支援をする中で高齢者が得意なことが発揮できるよう、内容を考え始めた町内もありました。例えば、星川2丁目「サロン星の和」では折り紙が得意な参加者がいたため、役割発揮ができるような機会を作りました。

中央地区では老人クラブが中心となり居場所作りを企画しました。一方で、老人クラブのない川辺町住宅では「みんなの体操」という集いの場を自治会長と一緒に作りました。今では参加者が体操メニューを持ち寄り、皆で取り入れたい内容を考えながら運営しようといった変化が見受けられるようになりました。また、星川地区あんしん訪問員研修の企画内容を一緒に考え、認知症になっても暮らし続けられる町づくりに向けた学習会を12月10日に行いました。40名程の参加があり、あんしん訪問員だけではなく幅広い地域の方々との参加につながりました。

(2) 地域アセスメント（ニーズ・資源の把握・分析）

(ア)毎月会議を行い、町別のアセスメントを進めました。地域の方々との関わりが定期的にある地域は得る情報も多く、介護技術を学んだり健康作りなどの事業展開ができる根拠が見出せました。一方で、アセスメントの進まない町内は自分達が定期的にアプローチできず情報収集も上手くいっていないのではと考え、アセスメントの進捗を確認し合うよう一覧表を作成し工夫しました。

(イ)所内で担当をしている個別ケース情報を収集し、町内毎に分析しました。例えば、ケアマネジャーから見る視点の中で介護保険サービスだけでは解決できない困り事があった場合、ボランティア活動団体のある明神台や見守り方法を検討してきた川辺町住宅住民へ提示をしたり、地域活動の中で解決ができることがあるのか考えてもらうきっかけを作りました。

(ウ)地域情報を把握し、地域の方々へ情報提供ができるツールとして冊子を作成しました。まずは地域包括支援センターの相談対応の際に情報提供ができるような活用を進めました。

忙しい地域の方々とは密に連絡し合う方法やどんな視点を持って一緒に地域活動を進められるかを所内で共有しました。

(3) 連携・協議の場

(ア) 地域の方々と連携し話し合いのできる場を設定するため協議体を開催しました。星川地区では見守り連携連絡会を続け、第3回は7月9日(日)に行いました。

町内毎のグループに分かれて地域の良いところや課題に思っているところ、ちょっとした特技や得意なことを持っている達人を探しました。見つかった達人が活躍できる場を探していくために第4回は2月18日(日)にお願いシートづくりを行い、自分達で動機付け、企画を立てていくための過程を学ぶ会としました。民生委員児童委員やあんしん訪問員だけでなく、新たな仲間を増やして一緒に行動を起こすことができる「担い手探し」という目的もあり、少しずつ星川地区の形を作っていくための支援に取り組みました。

(イ) 地域包括支援センターと連携し、地域ケア会議の開催から協議できる場を設定できるよう、地域の方々へ働きかけをしました。中央地区では地域ケア会議をきっかけとし、住民同士でできる見守り方法の話し合いが重ねられるようアプローチをしました。例えば、川辺町住宅では民生委員児童委員とあんしん訪問員とで見守りマップの作成を進め、1人暮らしの方で訪問での見守りを要する方をマッピングしたり、住宅内の世話焼きさんの情報収集をしてマッピングしました。峰岡町2丁目の高齢者福対策部会では、メンバー間で高齢者の見守りから得た情報を細かく共有しました。一方で、見落としのある方もいるのではないかと課題にも気づかれており、見守りの見える化が進められるような手法の情報提供をしました。宮田町の高齢化率は高く、地域ケア会議において高齢化率を提示するだけでなく、前期・後期高齢者の割合や介護認定率なども示し、自分達の町の状況を他人事ではないと理解してもらえよう工夫しました。

(4) より広域の地域課題の解決に向けた取組

(ア) 地域課題を共有できる民間企業やNPO法人など、様々な分野の活動団体との連携を強化するため、町毎のマップを作成し、どのような企業・民間団体があるのかマッピングしました。マッピングしたことを元に、見守りのキーとなる団体について町別に職員間で確認をしました。

見守りのキーとなる団体の中で、明神台のクリーンメイトへは挨拶をし、顔見える関係作りが進むきっかけができました。また、分譲マンションのある星川2丁目は管理会社が業務の中で日頃の見守りのキーとなっていることも分かり、民生委員児童委員や自治会長と連携して見守りのネットワーク構築ができるよう検討しました。

4 地域包括支援センター運営事業

(1) 総合相談支援業務

① 地域におけるネットワークの構築

(ア) 生活支援コーディネーターと協働しながら、星川一丁目から三丁目と明神台の各地域で開催されているサロンに定期的に出向き、地域住民との顔の見える関係づくりを進めました。明神台のサロンでは出張相談会を実施するために、毎月1回サロンに出向きました。地域の参加者の方から直接相談を受けることは少なかったですが、民生委員児童委員と地域住民の情報共有を図ることができました。サロン参加者が自発的に相談できるように取り組みました。

アセスメントシートを活用して集約した情報や地域課題を毎月定例の会議で共有をしました。宮田町町内会では集える場づくりの意向があることがわかり、看護師を中心に11月から介護予防教室を行いました。

(イ)生活支援コーディネーターと包括職員、自治会長や民生委員児童委員と協働し、昨年度には地域住民が集い、活動している場所がなかった川辺町市営住宅や星川二丁目では定期開催のサロンが立ち上がりました。職員間で連携し、積極的に参加することで地域住民との顔の見える関係づくりが進みました。

② 実態把握

(ア)職員間で連携し、地域課題をアセスメントシートに集約することを継続して行いました。これまで地域住民が集える場所がなかった川辺町市営住宅や星川二丁目において、定期開催のサロンが立ち上がりました。職員間で連携しながら各地域のサロンに積極的に参加することで地域住民との顔の見える関係づくりや個別の相談を受けやすい体制づくりが少しずつできています。職員間で地域課題の共有を図ることで、サロンの立ち上げ支援だけでなく、ケアプラザから遠い宮田町においても、町内会の役員と協力しながら、介護技術や介護予防の講座を行う等、事業展開ができました。

③ 総合相談支援

(ア)地域住民のさまざまな相談に対応し、適切な機関へつなげていくことや情報提供ができました。来所できない相談については訪問や病院での面談を行い、本人及び家族の意向を確認やアセスメントにより適切な情報提供を行いました。他エリアの住民からの相談については、区役所や他地域包括支援センターへの引き継ぎ等、迅速に対応しました。

(イ)町別の相談件数や内容から、職員間で情報共有を図り町ごとの課題を検討しました。相談件数の多い川辺町の「パークシティ横濱」では認知症への関心が高く、認知症サポーター養成講座や認知症学習会を開催しました。ケアプラザから遠く、高齢化率が高い宮田町では、地域住民と協力し、地域で講座を開催しました。

(2) 権利擁護業務

① 成年後見制度の活用促進・消費者被害の防止

(ア)司法書士事務所に依頼し、「夫婦・親子で知っておきたい終活教室」と題して遺言や相続、後見制度についての講座開催をしました。地域住民の関心は高く、今後も地域の方が自身の備えについての知識を持てるよう講座開催等を通しての普及啓発の必要性を感じました。

(イ)ケアマネジャーから成年後見制度の必要性の相談を受け、区役所とも連携を図りながら、訪問等を行い状況把握に努めました。必要性の見極めを行い、適切な支援につなげていきました。区主催の成年後見サポートネットでは、区役所のケースワーカーと連携した任意後見制度利用のケースについて、事例検討の事例提供を行いました。

(ウ)情報コーナーへ、国民生活センター発行の見守り新鮮情報を掲示し、詐欺や消費者被害について広く注意啓発をしました。地域住民の集いの場へ出向いた時やケアプラザの自主事業の際には情報提供をして注意啓発をしました。また、地域から聞き取った事例については、区とのミーティング等で地区担当職員と共有を図りました。

② 高齢者虐待への対応

- (ア)「男性介護者のつどい」は奇数月、「ホッとする会」は偶数月に、継続して開催しました。介護経験者となられた方も継続して参加されました。参加者同士で同じ経験を共有し、介護者がリフレッシュし、励まし合う機会を定期的にする事で虐待予防の普及啓発ができました。
- (イ)区役所、区内地域ケアプラザとともに、訪問看護事業所の連絡会やショートステイ事業所向けに虐待の早期発見・通報の必要性を伝えることができました。
- (ウ)28年度に作成した虐待のアセスメントシートを活用しました。地域包括担当職員、担当ケアマネジャーに記入を依頼し、状況を客観視できるようにしました。虐待の疑われる個別ケースについて区役所及び関係機関と相談や報告、情報共有を行いました。また、区役所とのカンファレンス等で適宜、支援方法の確認を行いながら対応しました。

③ 認知症

- (ア)認知症サポーター養成講座を地域ケアプラザ主催として、対象を限定せずに広く呼び掛けて7月に開催しました。他にも「パークシティ横濱自治会」「老人クラブ(明寿会)」「すみれの会(傾聴ボランティア)」「サロンほしかわ」参加者や「平沼高校生徒」「保土ヶ谷区老人クラブ連合会」などに向けて幅広く実施しました。開催に際してはキャラバンメイトや「ネーブルの会」のメンバーに声掛けし、協働して実施しました。講座では寸劇の内容や配役、サポーターとしてできること、認知症の人や家族の気持ちなど、「ネーブルの会」に所属のキャラバンメイトの方々が主体となり実施しました。
- (イ)認知症カフェ「ネーブル倶楽部」を偶数月に定期開催し、今年度6回開催しました。奇数月(ネーブル倶楽部開催前月)には、ネーブル倶楽部開催へ向けて今後の開催の方向性へ向けた話し合いに、ケアプラザの職員が参加して後方支援をしました。その中で、「ネーブル倶楽部」の参加対象者について、今までは認知症当事者やその家族など幅広く対象を設定していましたが、まずは家族や介護者がホッと息抜きできる場を作っていきたいというメンバーの意向により、今後は認知症の方の家族(介護者)を主な対象とした内容で「ネーブル倶楽部」を開催していくことになりました。

(3) 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

① 地域住民、関係機関等との連携推進支援

- (ア)中央地区民生委員児童委員協議会・星川地区民生委員児童委員協議会に必ず参加し、一人暮らし高齢者など気になるケースの相談を受け、情報共有を図るなど連携強化に努めました。
民生委員児童委員のバス旅行研修や親睦会へ参加する事により関係構築の強化を図りました。
- (イ)民生委員児童委員、老人クラブ会長、医療機関(医師・歯科医・薬剤師)、介護関係者(ケアマネジャー・サービス事業所)による地域と医療・介護の連携推進を目的とした話し合いの場を設けたことで地域のサロンにクリニックの医師が出席するなど、地域連携が進む結果となりました。
- (ウ)地域密着型サービス事業所から運営推進会議への参加依頼があった場合には可能な限り出席し、サービス状況の把握に努めました。
- (エ)地域とのネットワーク構築を目的としてマンション管理事務所の担当者や、銭湯の方などと連携を図りました。

② 医療・介護の連携推進支援

- (ア) エリア内の医療機関へ8月・1月以外の月にケアプラザの広報紙を持参しました。未設置の医療機関に対しても依頼文を貼付して広報紙と委託部門のチラシを持参しました。
- (イ) 8月に多職種連携会議（みんなでつながる地域の輪 身近にいるプロを地域に呼ぼうをテーマ）を実施しました。民生委員・児童委員、老人クラブ会長、医師、薬剤師、歯科医師、ケアマネジャー、訪問介護、通所介護、福祉用具、社会福祉協議会、区役所と合計66名の参加がありました。アンケート結果には、お互いの立場で提供が欲しい場面や提供できる立場などの内容を認識する事で、実りある連携ができたと感じたとの回答がありました。また開催内容について良かった、今後も参加したいとの回答が、9割以上ありました。
- 区内合同での開催では医師、薬剤師、歯科医師、ケアマネジャー、訪問介護、訪問看護・通所介護・福祉用具・施設関係者・区役所・区社会福祉協議会、地域ケアプラザと、総勢229名の参加がありました。28年度の参加人数を超える盛況ぶりでした。アンケート結果からは、連携の大切さと重要さを感じたなど多職種連携に対する前向きな回答が多くありました。
- (ウ) 地域ケア会議を当事者のかかりつけの病院で主治医や薬剤師も参加して開催しました。また、保土ケ谷区在宅医療相談室へ依頼し、全6回をオブザーバーとして参加がありました。

③ ケアマネジャー支援

- (ア) 地域包括担当職員で分担をしてサービス担当者会議へ参加をしました。困難事例などの相談時には同行訪問を行い、問題解決に向けた支援を実施しました。昨年度よりもケアマネジャーからの相談件数が増加傾向にあります。
- (イ) 区内地域ケアプラザ主任ケアマネジャーと共催で7月・8月・1月を除く月に合同ケアマネ連絡会を開催しました。また、新任ケアマネジャー向けに9月から12月まで4回コースで研修を実施しました。
- (ウ) ほどがやケアネット役員会に参加をして、運営がスムーズに行える様に助言や情報提供を行いました。また、ほどがやケアネットの研修に参加をして、ケアマネジャーのニーズ把握に努めました。

(4) 多職種協働による地域包括支援ネットワークの構築・地域ケア会議

多職種協働による地域包括支援ネットワークの構築・地域ケア会議

- (ア) 地域ケア会議開催を6回実施しました。親族、自治会長や民生委員児童委員、あんしん訪問員、医師、薬剤師など様々な関係者の参加がありました。
- 地域ケア会議開催に際して、区役所・区社会福祉協議会・地域包括で開催前に事例提出者と事前打ち合わせを実施しました。また、開催後には事前打ち合わせと同じメンバーによる振り返りを実施しました。

(5) 介護予防ケアマネジメント（指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業）

介護予防ケアマネジメント（指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業）

- (ア) 介護予防対象者（要支援）の担当者会議に可能な限り出席して介護予防・日常生活総合事業の仕組みや用語について説明を介護予防対象者や担当ケアマネジャー、サービス事業者に説明をしました。
- また、必要時各種の事業所に出向き説明を行いました。
- (イ) ケアマネジャー等に地域のインフォーマル情報提供を行い、ケアプランに取り込みやすくなるように支援しました。

(ウ) 新任・就労予定ケアマネジャー研修では介護予防プランの講師依頼を受け、介護予防ケアプランの考え方と業務委託の流れについて説明を行いました。

(6) 一般介護予防事業

一般介護予防事業

- (ア) 各町内のサロンに積極的に出向き、地域包括支援センターを周知し、11団体に13回の体力測定会を行い、生活の見直しと健康づくりのきっかけとなるようにしました。また、地域へ出張依頼があった場合には積極的にロコモティブシンドローム予防について説明し、「ハマトレ体操」の実施や、認知症を予防する方法として「スリーA」や「スクエアステップ」の体験などを積極的に取り入れて紹介しました。自主事業の「歌声ひろば」では冒頭に「チューリップ体操」や「わがまち保土ヶ谷体操」を取り入れて体を動かす機会を増やし、介護予防の推進に努めました。
- (イ) 介護予防講座を開催し、地域活動をする事が介護予防になる事を話し、介護予防活動の奨励をしました。その際、「ほっしいーのわいわいフェスティバル」で体力測定ボランティアの募集や「スリーA支援者養成講座」の周知をして参加への呼び掛けを行いました。
- (ウ) 介護予防事業に協力してもらうボランティアを増やすため、地域で活用できる「スリーA支援者養成講座」を開催し、普及と活用をすすめました。また、「スリーA支援者養成講座」後は地域でのサロンでレクリエーションをする担い手の方が増えたので、活動がよりしやすくなるように脳トレの仕方や声掛けの方法を配布し、プログラムの進行を一緒に行い振り返りを行いました。
- (エ) 介護予防に取り組むグループの「みんなの体操」に区役所と共に出向き、きらり・シニア塾の申請を行いました。
- (オ) 川辺町第二住宅と宮田町に働きかけを行い、地域と連携を図りながら健康づくりや介護予防の活動を進めるため、介護予防教室を開催しました。

5 施設の適正な管理について

(1) 施設の維持管理について

- (ア) 複合施設であり、地域の様々な方が利用されるので、安全確保と設備の正常作動を最優先として管理に努めるとともに館内の清潔保持に努めました。
- (イ) 設備の保守点検については、専門業者に委託のうえ不具合の早期発見に努め、適切な修繕を行って総合的に管理を行い事故防止に努めました。
- (ウ) 区内の授産施設に、植栽管理と草取り、周囲の清掃(年 10 回作業)を委託して、環境保全と緑化に努めました。
- (エ) 貸室の日常清掃については、使用後に利用団体が清掃を行い、その後の点検を職員が行いました。また、貸室を含め所内を委託業者が毎日清掃し、その後職員が目視し作業終了報告書の内容を確認しました。合わせて、毎月同業者により全館の定期清掃を行いました。

(2) 効率的な運営への取組について

- (ア) 労務、経理等の事務処理に関して、法人本部と連携して業務や役割の分担を図りながら効率的に行いました。
- (イ) 不要な照明をこまめに消し、職員が長時間離席する際にはパソコンの電源を落とすことを徹底しました。空調を適正温度に設定するなど無駄を省くように努めました。
- (ウ) 整理整頓をすすめ、収納の工夫やインデックスの使用などで必要な書類がすぐに見つかり、業務が効率的に行えるようルール周知と徹底を図りました。

(3) 苦情受付体制について

- (ア) 法人の苦情解決規則に基づいて、ケアプラザにおいても苦情受付担当者、苦情解決責任者を設置して、お客様からのご意見、ご要望、苦情等に対応しました。
- (イ) お客様が苦情やご意見を述べやすいように、ご意見ダイヤルの利用方法と指定管理者名及び指定期間を掲示し情報提供しました。また、職員の目を気にせず投函しやすいように、2階通路にご意見箱を設置しました。今年度は、ご意見箱への投書はありませんでした。
- (ウ) 法人では公正・中立な立場からあつせん、調整を行う第三者委員を設置し、苦情解決に向けて体制を整備し、取り組みを行いました。
- (エ) 法人のケアプラザ所長で組織するサービス向上委員会を毎月開催し、受け付けた内容を共有するとともに、原因、改善策について検討し、事業所に持ち帰って今後の業務に生かせるよう所内会議で報告しました。

(4) 緊急時(防犯・防災・その他)の体制及び対応について

- (ア) 地震、火災等の災害時の備えとして、法人で作成した非常災害・事故緊急時対応・再発防止マニュアルや、災害時の業務継続計画のためのBCPを見直し、更新しました。
- (イ) かるがも全館で行う年2回の防災訓練を通し、緊急時に各施設職員がマニュアルに沿った対応ができるよう、災害時に備えました。
- (ウ) 急病時には看護職員を中心として適切に対応できるようにAEDを設置しました。消防職員による指導で、全職員対象にAEDの操作方法を含む救命救急研修を実施しました。

(エ) 特別避難場所であることを地域に周知するとともに、地域防災拠点では避難生活を送ることが困難な高齢者などの避難場所として、応急備蓄物資や防災対策マニュアルを整備します。

(5) 事故防止への取組について

(ア) 介護サービスの提供中に起こったヒヤリハットを全体会議や朝夕のミーティングの場において報告し、注意喚起するとともに事例検討会を重ね、再発防止に努めました。

(イ) 所内で法人のサービス向上課から発信される注意喚起を回覧し共有するなど、法人内の他事業所での事故事例も検討し、問題点の洗い出しを行うとともに再発防止策を検討し、意識改善を図ります。

(ウ) 毎月、産業医出席のもと衛生委員会を開催し、労働環境について検討を重ね改善策の検討と対策を協議し、改善に向けた対策を実施しました。

(エ) デイサービスの送迎車両に、ドライブレコーダーを取り付けて安全運転に心がけました。事故等が発生した場合はその映像や会話を検証して対策を検討し、全車のスタッフに周知しました。また、ドライバーについては運転適正検査を実施しました。

(オ) ドライバーに対して、毎回の運転直前に呼気のアルコールチェック、健康状態の確認、運転免許証の確認を行いました。

(6) 個人情報保護の体制及び取組について

(ア) 法人で個人情報保護規程に従って、個人情報の管理に関する担当者、責任者を決めました。法人本部で実施される個人情報保護・情報セキュリティ研修を職員が受講するとともに、所内でも個人情報保護の研修を実施し、啓発に努めました。

(イ) 個人情報の含まれる契約書や記録類は施錠できるロッカーなどで保管し、どうしても携帯する必要がある場合には、紛失や情報漏えいのないよう最小限の情報のみを法人指定のカバンに入れて斜め掛けし携帯することを徹底しました。

(ウ) 個人情報の含まれる書類が同時に印刷をかけたパンフレットなどに混入しないように、印刷機の操作をすることで印刷されるような設定にしました。

(エ) 情報をパソコン本体に保存せず、法人のサーバーに保存することでパソコンの盗難や不正アクセスがあっても情報が流出しないような設定を行いました。また、パソコンはワイヤーで固定し、盗難防止に努めました。磁気媒体は最低限のものを使用し、鍵のかかるキャビネットに格納し、出し入れの際に記録を残し管理しました。

(オ) 業務用携帯電話は暗証番号でダイヤルロックし、端末を万が一紛失した場合にも保存内容を遠隔操作で消去できるよう契約しました。

(7) 情報公開への取組について

(ア) 情報公開の請求があった場合には、法人で定めた情報公開規程に則り、積極的に情報を公開する体制を整えました。

(イ) ホームページや広報紙を活用して各種事業に関する情報や貸し部屋の空き情報などを幅広く市民の方に提供しました。

(8) 人権啓発への取組について

- (ア) 法人として様々な障がい者差別をテーマにして全職員を対象に人権研修に取り組みました。受講者が未受講者に対して伝達研修を行うことにより、人権の啓発を行い、職員やスタッフの意識向上を図りました。
- (イ) 児童保護の観点からケアプラザエリアごとに行われている要保護児童地域対策協議会に出席し、情報共有とともに構成団体それぞれでできることを話し合い、児童虐待防止に取り組みました。
- (ウ) 相談ケースの中で虐待が疑われるケースについては、区役所などの関係機関と慎重に協議し対応しました。また、介護者による虐待を未然に防ぐため、介護者教室や介護者のつどいを事業展開し、介護者支援を行いました。
- (エ) 地域住民が認知症への理解を深め支援の担い手となれるよう、「認知症サポーター養成講座」を地域のキャラバンメイトの方々と共に学校や地域などで開催しました。

(9) 環境等への配慮及び取組について

- (ア) 省エネルギー対策、ごみの減量化など良好な環境の維持のために、節電、節水をこまめに行いました。コピー用紙の裏面使用を励行し、資源ごみの分別収集に協力しました。また、植栽の管理等を通して環境保全を行いました。
- (イ) 電力消費がピークとなる夏季には「適正冷房・軽装勤務」の実行、不要な照明の消灯、使用していない事務用機器の電源を落とすなど、地球温暖化防止に努めました。

【介護保険事業】

●指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業

《職員体制》

社会福祉士	2名
主任ケアマネジャー	1名
看護師	1名
介護支援専門員	3名

《目標に対する成果等》

(ア)一人ひとりの心身状況や環境に応じて、お客様ご本人と計画作成者がともに目標に向けて取り組むことを大切に、自立支援の視点でプランの組み立てを行いました。

(イ)お客様の選択権を十分に尊重し、安心と信頼を得られるケアプラン作成を行いました。また、介護保険サービスだけでなく、地域のインフォーマルサービスもケアプランに位置付けるよう心掛けました。

(ウ)新任・就労予定ケアマネジャー研修では介護予防プランの講師依頼を受け、介護予防ケアプランの考え方と業務委託の流れについて説明を行いました。

《実費負担（徴収する場合は項目ごとに記載）》

●交通費：通常サービス提供地域を超える訪問・出張する必要がある場合には、公共交通機関を利用した運賃分をいただきました。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

自立支援の視点によるケアプラン作成に努め、関係機関との情報共有や連携を図り支援しました。他に民生委員児童委員や地域の各種団体との連携を図りました。また、地域のインフォーマルサービスなど、地域資源を組み込んだケアプラン作成を行いました。迅速かつ、お客様のニーズに適切なケアプラン作成を心掛けました。

《利用者実績》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
191	189	187	192	198	201
10月	11月	12月	1月	2月	3月
202	202	204	197	193	186

● 居宅介護支援事業

《職員体制》

介護支援専門員	常勤兼務	1名
	常勤専従	2名
	非常勤兼務	3名

《目標に対する成果等》

(ア) 特定事業所として

- ① ご契約者に対して24時間連絡の取れる体制を確保し、要請があった際に迅速に対応いたしました。
- ② 毎月の事業所内研修や、ケアマネ連絡会の主催する研修に参加し、ケアマネジャーの資質向上に取り組みました。
- ③ 民生委員児童委員をはじめとした地域の方々と連絡を取りながら、様々なケースに取り組みました。

(イ) 地域包括ケアシステムの構築について

- ① 平成29年度は2回参加しました。会議を通して自治会、町内会、区役所、各関係機関との顔の見える関係作りをしました。
- ② 専門職の視点から分析した地域特性について、地域包括支援センターや生活支援コーディネーターに情報提供をしていきました。

(ウ) 自立支援を目指したケアプランの作成について

お客様が住み慣れた地域で自立した生活を続けて行くことができるよう、介護保険サービスの利用に加えて、自治会の実施しているごみ出しや、サロンなどのインフォーマルサービスを取り入れたケアプラン作成に取り組みました。

《実費負担（徴収する場合は項目ごとに記載）》

通常のサービス提供地域を超える訪問、出張をする必要がある場合は、公共交通機関を利用の場合、その運賃分をいただきました。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

地域ケアプラザ内のケアマネステーションという利点を生かし、福祉相談窓口と密に連携し、エリア内の様々な関係機関とネットワークを構築することで、多職種が協働した支援を目指し、地域に根差した身近でかつ信頼される事業所となるように努めました。

《利用者実績》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
132	145	150	142	140	139
10月	11月	12月	1月	2月	3月
139	146	150	151	151	150

● 通所介護

《提供するサービス内容》

(ア)お客様が出来るだけ、その居宅や住み慣れた地域において、社会的孤立感を感じずに、それぞれが有する能力に応じて、自立した日常生活を営む為、又はご家族の身体的・精神的負担を軽減する為に、生活機能の維持・向上を目指し、入浴・排泄・食事等日常生活の介助及び機能訓練を継続して取り組みました。

(イ)事業の実施にあたり、関係行政機関・地域の保健・医療・福祉サービス事業者・ボランティア団体との連携を図り、お客様やご家族に対して、安心して安全な、社会交流の場となるような総合的なサービスの提供に努めました。

《実費負担（徴収する項目ごとに記載）》

	1割負担分	2割負担分
(要介護1)	704円	1,407円
(要介護2)	831円	1,662円
(要介護3)	963円	1,926円
(要介護4)	1,095円	2,189円
(要介護5)	1,227円	1,227円
●食費負担	700円	
●サービス提供体制強化加算(Ⅰイ)	13円	26円
●入浴加算	54円	108円
●個別機能訓練Ⅱ	60円	120円
●口腔機能向上加算	161円	322円
●若年性認知症利用者加算	65円	129円
●送迎減算(片道)	-51円	-101円
●おむつ代	大 211円 小 183円	
●キャンセル料(食材費)	500円	
●介護職員処遇改善加算	1か月のご利用単位数の1000分の59に相当する単位数の料金を加算	

※ その他、実費相当を徴収するものについては、各施設で項目を増やして記載をしてください。

《事業実施日数》 週 6日

《提供時間》 9:30 ~ 16:30

《職員体制》

管理者	常勤兼務	1名
生活相談員	常勤兼務	3名
看護職員	非常勤兼務	6名
介護職員	常勤兼務	5名
	非常勤兼務	25名
機能訓練指導員	非常勤兼務	6名

《目標に対する成果等》

(ア)自立支援をお手伝いする為に、できる事は危険のないよう配慮しながら、出来るだけご自身でして頂きました。レクリエーションでは、機能訓練につながるプログラムや、趣味につながるプログラムを企画し、ご自身で興味のある事やお好きな事を選択して頂き、それぞれが主体的に取り組んで頂ける様に支援しました。

(イ)多職種連携を心掛け、お客様の変化に気づき、ケアマネジャーやご家族等に連絡をする事で、速やかに対処し、状態の軽減もしくは悪化の防止に努めました。

(ウ)レクリエーションや日々の活動の中で、ボランティアの方や地域の方とも交流する事が出来るように支援しました。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

- (ア)個別機能訓練Ⅱを実施し、身体機能の向上と共に、ご自宅や地域においての活動参加などを促し、ご自身にあった目標を立てる事で、積極的に訓練に参加し、住み慣れた場所での生活を維持する事が出来るように取り組みました。
- (イ)個別レクリエーションでは、フラワーアレンジメントや野菜の栽培等、日頃の活動とは違う経験を楽しんで頂きました。
- (ウ)写真撮影会を行い、メイクやドレスアップ等をして頂き、生き生きとしたお姿を写真に残しました。
- (エ)介護職員の総数の40%以上が介護福祉士の資格を有しており、より専門的な知識や技術でサービスを提供しました。

《利用者実績（延べ人数）》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
614	645	613	677	365	624
10月	11月	12月	1月	2月	3月
626	620	623	569	509	570

● 介護予防通所介護・第1号通所事業・介護予防認知症対応型通所介護

《提供するサービス内容》

(ア)お客様が、今の生活を出来るだけ長く健康に続けていく事が出来るよう、自立支援を基に入浴・食事・排泄の介護を行いました。

(イ)事業の実施にあたり、関係行政機関・地域の保健・医療・福祉サービス事業者・ボランティア団体等との連携を図り、総合的なサービス提供の調整に努めました。

《実費負担（徴収する項目ごとに記載）》

	1割負担分	2割負担分
(要支援1・週1回程度)	1,766円	3,531円
(要支援2・週1回程度)	1,766円	3,531円
(要支援2・週2回程度)	3,621円	7,241円
●食費負担	700円	
●サービス提供体制強化加算(Ⅰイ)		
(要支援1・週1回程度)	52円	103円
(要支援2・週1回程度)	52円	103円
(要支援2・週2回程度)	103円	206円
●運動器機能向上	242円	483円
●口腔機能向上	161円	322円
●若年性認知症利用者受入加算	258円	515円
●キャンセル料(食材費)	500円	
●おむつ代	大 211円 小 183円	
●介護職員処遇改善加算	1か月のご利用単位数の1000分の59に相当する単位数の料金を加算。	

※ その他、実費相当を徴収するものについては、各施設で項目を増やして記載をしてください。

《事業実施日数》 週 6日

《提供時間》 10:00 ~ 15:30

《職員体制》

管理者	常勤兼務	1名
生活相談員	常勤兼務	3名
看護職員	非常勤兼務	6名
介護職員	常勤兼務	5名
	非常勤兼務	25名
機能訓練指導員	非常勤兼務	6名

《目標に対する成果等》

「医療から介護へ」、「施設から在宅へ」の方向を踏まえ、社会保障の考え方としての「自助・互助・共助・公助」を基本とし、重度な要介護状態となっても住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続ける事が出来るよう取り組みました。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

自分でできる事は自分で行う事(自助)を原則に、地域の互助の推進、その上で共助、それでも対応できない場合には、公助という考え方に沿って支援できるよう努めました。

《利用者実績（契約者数）》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
108	123	128	111	121	138
10月	11月	12月	1月	2月	3月
145	140	123	127	138	162

● 認知症対応型通所介護

《提供するサービス内容》

(ア)認知症の方が地域で暮らしていく中で、今の状態を出来るだけ長く保ち、孤立せずに安心して、ご自分らしく生活が出来るように、又、ご家族の精神的・身体的負担を解消する為に、必要な日常生活のお世話(入浴・排泄・食事)と機能訓練を提供しました。

(イ)事業の実施にあたり、関係行政機関・地域の保健・医療・福祉サービス事業者、ボランティア団体との連携を図り、お客様やご家族に対して、安心して安全な、社会交流の場となるような総合的なサービスの提供に努めました。

《実費負担（徴収する項目ごとに記載）》

	1割負担分	2割負担分
(要介護1)	1,072円	2,144円
(要介護2)	1,188円	2,376円
(要介護3)	1,305円	2,609円
(要介護4)	1,422円	2,844円
(要介護5)	1,539円	3,077円
● 食費負担	700円	
● サービス体制強化加算(Ⅰイ)	20円	39円
● 個別機能訓練	30円	59円
● 入浴介助	55円	109円
● 若年性認知症受入加算	66円	131円
● 送迎減算(片道)	-51円	
● キャンセル料(食材費)	500円	
● おむつ代	大 211円 小 183円	
● 介護職員処遇改善加算	1か月のご利用単位数の1000分の104に相当する単位数の料金を加算	

※ その他、実費相当を徴収するものについては、各施設で項目を増やして記載をしてください。

《事業実施日数》 週 6日

《提供時間》 9:30 ~ 16:30 (半角で入力 例 9:00~15:00)

《職員体制》

管理者	常勤兼務	1名
生活相談員	常勤兼務	1名
	非常勤兼務	3名
看護職員	非常勤兼務	6名
介護職員	常勤兼務	1名
	非常勤兼務	16名
機能訓練指導員	非常勤兼務	6名

《目標に対する成果等》

脳の機能が変化していく事で、生き方や周りの人との繋がり、関わり方等環境が変わっていき、生活が変化してしまいます。認知症の方が出来る限りの能力を発揮し、その方らしい生活が出来るように、お客様の思いを尊重し、支援しました。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

(ア)専門的な視野から一人ひとりに合った支援をさせて頂き、出来るだけご自宅で生活して頂ける様にしました。

(イ)お客様だけでなく、介護されるご家族とのコミュニケーションを図り、介護負担の軽減も図れるように努めました。

(ウ)介護職員の50パーセント以上が介護福祉士の資格を有しており、より専門的な知識と技術にてサービスを提供し、お客様もご家族も安心してサービスを受けて頂くことができました。

《利用者実績（延べ人数）》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
180	239	214	203	222	231
10月	11月	12月	1月	2月	3月
231	223	225	227	218	255

平成29年度「横浜市星川地域ケアプラザ」
収支予算書及び報告書(一般会計)〈地域活動〉

収入の部

(税込、単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	16,147,612	196,252	16,343,864	16,343,864	0	横浜市より
利用料金収入			0	0	0	
指定管理料充当 事業	0		0	394,210	△ 394,210	
自主事業収入			0	0	0	この列は入力しない
雑入	0	0	0	92,410	△ 92,410	
印刷代	0		0	0	0	
自動販売機手数料	0		0	85,108	△ 85,108	
駐車場利用料金収入	0		0	0	0	
その他(指定管理料充当)	0		0	7,302	△ 7,302	
その他(施設使用料相当額 法人負担分)	3,990,000		3,990,000	3,990,000	0	
その他(提案時控除 法人負担分)	3,099,649		3,099,649	3,099,649	0	
収入合計	23,237,261	196,252	23,433,513	23,920,133	△ 486,620	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	11,985,427	0	11,985,427	11,244,760	740,667	
本俸	8,870,245		8,870,245	7,775,089	1,095,156	
社会保険料	1,045,212		1,045,212	1,166,835	△ 121,623	
手当計	780,911		780,911	1,963,653	△ 1,182,742	
健康診断費	68,475		68,475	53,315	15,160	
勤労者福祉共済掛金	9,000		9,000	0	9,000	ハマふれんど
退職給付引当金繰入額	290,551		290,551	278,126	12,425	
その他	921,033		921,033	7,742	913,291	
事務費	913,000	0	913,000	1,872,840	△ 959,840	
旅費	0		0	9,728	△ 9,728	
消耗品費	265,207		265,207	265,207	0	
会議随費	0		0	0	0	
印刷製本費	124,433		124,433	124,433	0	
通信費	286,560		286,560	286,560	0	
使用料及び賃借料	0	0	0	19,200	△ 19,200	
横浜市への支払分	0		0	19,200	△ 19,200	
その他	0		0	0	0	
備品購入費	22,205		22,205	196,083	△ 173,878	
図書購入費	0		0	0	0	
施設賠償責任保険	13,140		13,140	13,140	0	
職員等研修費	1,973		1,973	1,973	0	
振込手数料	18,463		18,463	18,468	△ 5	
リース料	101,518		101,518	101,518	0	
手数料	17,828		17,828	17,828	0	
地域協力費	0		0	0	0	
その他	61,673		61,673	818,702	△ 757,029	
事業費	1,654,000	0	1,654,000	694,822	959,178	
運営協議会経費	42,000		42,000	10,768	31,232	予算-指定額
指定管理料充当 事業	1,612,000		1,612,000	684,054	927,946	
管理費	7,726,000	621,145	8,347,145	4,472,410	3,874,735	
建築物・建築設備点検	0		0	0	0	予算-指定額
光熱水費	2,615,892	0	2,615,892	1,953,380	662,512	
電気料金	733,850		733,850	624,122	109,728	
ガス料金	639,873		639,873	536,638	103,235	
水道料金	1,242,169		1,242,169	792,620	449,549	
清掃費	1,198,936		1,198,936	634,093	564,843	
修繕費	474,000	621,145	1,095,145	860,565	234,580	予算-指定額
機械整備費	222,642		222,642	222,640	2	
設備保全費	680,597	0	680,597	674,079	6,518	
空調衛生設備保守	421,060		421,060	421,060	0	
消防設備保守	42,545		42,545	42,545	0	
電気設備保守	60,952		60,952	54,573	6,379	
害虫駆除清掃保守	32,351		32,351	32,212	139	
駐車場設備保全費	0		0	0	0	
その他保全費	123,689		123,689	123,689	0	
共益費	0		0	0	0	
その他	2,533,933		2,533,933	127,653	2,406,280	
公租公課	958,834	0	958,834	899,580	59,254	
事業所税			0		0	この列は入力しない
消費税	958,834		958,834	899,580	59,254	
印紙税			0		0	この列は入力しない
その他()			0		0	この列は入力しない
事務経費 (計算根拠を説明欄に記載)	0	0	0	0	0	この列は入力しない
本部分			0		0	この列は入力しない
当該施設分			0		0	この列は入力しない
二一ス対応費			0		0	この列は入力しない
支出合計	23,237,261	621,145	23,858,406	19,184,412	4,673,994	
差引	0	△ 424,893	△ 424,893	4,735,721	△ 5,160,614	

自主事業費収入	1,612,000		1,612,000	0	1,612,000	予算-指定管理料を含む
自主事業費支出	1,612,000		1,612,000	684,054	927,946	
自主事業収支	0	0	0	△ 684,054	684,054	⇒自主事業(指定管理料充当の自主事業)費
管理許可・目的外使用許可収入	0		0	85,108	△ 85,108	駐車場利用料金・自動販売機手数料収入等法人収入
管理許可・目的外使用許可支出	0		0	19,200	△ 19,200	使用料(横浜市への支払等)・駐車場設備保全費
管理許可・目的外使用許可収支	0		0	65,908	△ 65,908	

平成29年度「横浜市星川地域ケアプラザ」
収支予算書及び報告書(特別会計)<包括・介護予防・生活支援体制整備>

収入の部 (税込、単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料(包括)	29,341,000	△ 238,950	29,102,050	29,102,050	0	横浜市より
指定管理料(介護予防)	151,000		151,000	151,000	0	横浜市より
指定管理料(生活支援)	5,789,000	△ 657,166	5,131,834	5,131,834	0	横浜市より
利用料金収入			0	0	0	この列は入力しない
指定管理料充当事業(包括)	0		0	93,800	△ 93,800	
指定管理料充当事業(介護予防)	0		0	0	0	
指定管理料充当事業(生活支援)	0		0	0	0	
自主事業収入			0	0	0	この列は入力しない
雑入	0	0	0	0	0	
印刷代	0		0	0	0	
自動販売機手数料	0		0	0	0	
駐車場利用料金収入	0		0	0	0	
その他(指定管理充当)	0		0	0	0	
その他(提案時控除 法人負担分)	1,859,093		1,859,093	1,859,093	0	
収入合計	37,140,093	△ 896,116	36,243,977	36,337,777	△ 93,800	

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	32,956,293	0	32,956,293	33,612,455	△ 656,162	
本俸	19,141,536		19,141,536	18,936,634	204,902	
社会保険料	3,743,440		3,743,440	4,384,302	△ 640,862	
手当計	8,196,137		8,196,137	9,525,790	△ 1,329,653	
健康診断費	39,609		39,609	28,611	10,998	
勤労者福祉共済掛金	28,512		28,512	0	28,512	ハマふれんど
退職給付引当金繰入額	700,876		700,876	700,876	0	
その他	1,106,183		1,106,183	36,242	1,069,941	
事務費	290,000	0	290,000	1,917,579	△ 1,627,579	
旅費	5,294		5,294	25,883	△ 20,589	
消耗品費	15,847		15,847	101,897	△ 86,050	
会議随費	0		0	0	0	
印刷製本費	25,883		25,883	106,883	△ 81,000	
通信費	84,404		84,404	339,359	△ 254,955	
使用料及び賃借料	0	0	0	0	0	
横浜市への支払分			0	0	0	
その他			0	0	0	
備品購入費	0		0	22,205	△ 22,205	
図書購入費	0		0	0	0	
施設賠償責任保険	11,753		11,753	13,140	△ 1,387	
職員等研修費	2,800		2,800	33,060	△ 30,260	
振込手数料	18,700		18,700	20,365	△ 1,665	
リース料	56,826		56,826	69,142	△ 12,316	
手数料	2,952		2,952	17,828	△ 14,876	
地域協力費	0		0	0	0	
その他	65,541		65,541	1,167,817	△ 1,102,276	
事業費	1,840,000	0	1,840,000	830,085	1,009,915	
協力医	630,000		630,000	504,000	126,000	予算:指定額
指定管理料充当自主事業(包括)	750,000		750,000	111,657	638,343	
指定管理料充当事業(介護予防)	151,000		151,000	151,671	△ 671	予算:指定額
指定管理料充当自主事業(生活支援)	309,000		309,000	62,757	246,243	予算:指定額
管理費	2,053,800	0	2,053,800	973,151	1,080,649	
建築物・建築設備点検	0		0	0	0	予算:指定額
光熱水費	1,091,602	0	1,091,602	519,252	572,350	
電気料金	195,073		195,073	165,906	29,167	
ガス料金	423,936		423,936	142,650	281,286	
水道料金	472,593		472,593	210,696	261,897	
清掃費	357,210		357,210	168,555	188,655	
修繕費	126,000		126,000	13,050	112,950	予算:指定額
機械警備費	59,182		59,182	59,182	0	
設備保全費	188,641	0	188,641	179,180	9,461	
空調衛生設備保守	111,926		111,926	111,926	0	
消防設備保守	10,437		10,437	11,307	△ 870	
電気設備保守	16,201		16,201	14,506	1,695	
害虫駆除清掃保守	17,198		17,198	8,562	8,636	
駐車場設備保全費	0		0	0	0	
その他保全費	32,879		32,879	32,879	0	
共益費	0		0	0	0	
その他	231,165		231,165	33,932	197,233	
公租公課	0	0	0	0	0	
事業所税			0	0	0	
消費税	0		0	0	0	
印紙税	0		0	0	0	
その他()	0		0	0	0	
事務経費(計算根拠を説明欄に記)	0	0	0	0	0	この列は入力しない
本部分			0	0	0	
当該施設分			0	0	0	
二一ス対応費			0	0	0	
支出合計	37,140,093	0	37,140,093	37,333,270	△ 193,177	
差引	0	△ 896,116	△ 896,116	△ 995,493	99,377	

自主事業費収入	1,210,000			93,800		予算:指定管理料に含む
自主事業費支出	1,210,000			326,085		
自主事業収支	0			△ 232,285		⇒自主事業(指定管理料充当の自主事業)費

管理許可・目的外使用許可収入	0			0		駐車場利用料金・自動販売機手数料収入等法人
管理許可・目的外使用許可支出	0			0		使用料(横浜市への支払等)・駐車場設備保全費
管理許可・目的外使用許可収支	0			0		

平成 29年度 地域ケアプラザ収支報告書<介護保険事業分>

施設名: 横浜市星川地域ケアプラザ

平成29年4月1日～平成30年3月31日

(単位: 千円)

	科目	介護予防支援	居宅介護支援	通所介護	予防通所介護・ 第1号通所介護	認知症対応型 通所介護
収入	介護保険収入	5,094	27,400	64,403	8,266	37,272
	その他	6,389	511	15,530	153	6,950
	介護予防ケアマネジメント 費	3,483	0	0	0	0
	事業・負担金収入	2,887	0	8,331	2	4,932
	認定調査委託料	0	505	0	0	0
	利用者利用料収入	0	0	6,291	151	1,866
		0	0	0	0	0
	その他	19	6	908	0	152
	収入合計(A)	11,483	27,911	79,933	8,419	44,222
支出	人件費	3,297	25,376	58,406		21,547
	事務費	22	1,713	5,876		2,136
	事業費	0	50	7,099		2,273
	管理費	0	0	5,750		1,724
	その他	5,291	0	74	0	0
	利用者負担軽減額	0	0	34		
	消費税	0	0	0		
	介護予防プラン委託料	5,291	0	0		
	その他			40		
支出合計(B)	8,610	27,139	77,205	0	27,680	
収支 (A) - (B)	2,873	772	2,728	8,419	16,542	

※ 介護予防プランを他事業者へ委託する場合の取扱は、介護報酬を一旦全額収入に計上した後、他事業者へ委託料として支払う分を支出に計上してください。

※ 上記以外の事業(認知症対応型通所介護等の事業)を実施している場合は、事業ごとに列を増やして同じように記載をしてください。

平成29年度 自主事業収支報告書

施設名 **星川地域ケアプラザ**

事業名	①主な対象者	自主事業決算額							
	②参加人数	総経費	収入			支出			
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	その他	講師謝金	材料費	その他	
サロンほしかわ (クリスマス会含む)	地域	82,993	地活	943	82,050	0	0	41,993	41,000
	1,159人		包括	0	0	0	0	0	0
	内容により0~500円		生活	0	0	0	0	0	0
ミニデイ	高齢者	125,643	地活	4,025	58,800	0	0	62,825	0
	133人		包括	4,018	58,800	0	0	62,818	0
	600円		生活	0	0	0	0	0	0
シニア体操	高齢者	0	地活	0	0	0	0	0	0
	1,209人		包括	0	0	0	0	0	0
	無料		生活	0	0	0	0	0	0
子育て広場	乳幼児	0	地活	0	0	0	0	0	0
	162人		包括	0	0	0	0	0	0
	無料		生活	0	0	0	0	0	0
中央地区配食ボランティアの後方支援	高齢者	0	地活	0	0	0	0	0	0
	591人		包括	0	0	0	0	0	0
	300円(費用管理は団体)		生活	0	0	0	0	0	0
包丁研ぎ個人講座	高齢者	0	地活	0	0	0	0	0	0
	65人		包括	0	0	0	0	0	0
	300円(費用管理は団体)		生活	0	0	0	0	0	0
布おもちゃの貸し出し	地域	0	地活	0	0	0	0	0	0
	25人		包括	0	0	0	0	0	0
	無料		生活	0	0	0	0	0	0
子ども寺子屋	子ども	4,236	地活	4,236	0	0	0	4,236	0
	158人		包括	0	0	0	0	0	0
	無料		生活	0	0	0	0	0	0
かるがも☆ こころのリズム教室	乳幼児	100,000	地活	100,000	0	0	100,000	0	0
	153人		包括	0	0	0	0	0	0
	無料		生活	0	0	0	0	0	0
リンパマッサージ& ストレッチ	地域	50,690	地活	5,490	45,200	0	46,770	0	3,920
	113人		包括	0	0	0	0	0	0
	400円		生活	0	0	0	0	0	0
かるがも体操教室	高齢者	59,616	地活	22,116	37,500	0	50,000	0	9,616
	150人		包括	0	0	0	0	0	0
	200円		生活	0	0	0	0	0	0
ネーブルの会~みんな で認知症を考える会~	地域	0	地活	0	0	0	0	0	0
	158人		包括	0	0	0	0	0	0
	100円(費用管理は団体)		生活	0	0	0	0	0	0
中央地区 ウォーキング教室	地域	0	地活	0	0	0	0	0	0
	35人		包括	0	0	0	0	0	0
	無料		生活	0	0	0	0	0	0
夏だ! プールに行こう!	乳幼児	7,030	地活	4,230	2,800	0	0	2,550	4,480
	116人		包括	0	0	0	0	0	0
	50円		生活	0	0	0	0	0	0
スカイダックに乗ろう	障がい者	0	地活	0	0	0	0	0	0
	9人		包括	0	0	0	0	0	0
	1,000円(補助金事業)		生活	0	0	0	0	0	0
着付けを習って ゆかたデビュー	子ども	0	地活	0	0	0	0	0	0
	14人		包括	0	0	0	0	0	0
	無料		生活	0	0	0	0	0	0
パパと一緒にクッキング	子ども	13,931	地活	1,731	12,200	0	0	13,371	560
	40人		包括	0	0	0	0	0	0
	700円		生活	0	0	0	0	0	0
調理実習	地域		地活	4,736	0	0	0	0	

平成29年度 自主事業収支報告書

調理至不掃除 ボランティア大作戦！！	14人	4,736	包括	0	0	0	0	0	0
	0円		生活	0	0	0	0	0	0
ほっとフレンズ2017夏 ボランティア研修・説明 会・夏祭り	障がい児		地活	0	0	0	0	0	0
	58人		包括	0	0	0	0	0	0
	500円(補助金事業)		生活	0	0	0	0	0	0
区民まつりへの事業参加	地域	1,194	地活	1,194	0	0	0	0	0
	150人		包括	0	0	0	0	0	0
	0円		生活	0	0	0	0	0	0
ほっしいーのわいわい フェスティバル2017	地域	246,332	地活	100,172	146,160	0	0	161,792	84,540
	2,000人		包括	0	0	0	0	0	0
	内容により0~200円		生活	0	0	0	0	0	0
親子deクリスマス！！	乳幼児	9,972	地活	472	9,500	0	0	9,972	0
	41人		包括	0	0	0	0	0	0
	500円		生活	0	0	0	0	0	0
出張サンタ～サンタが街 へやってくる？！	地域	324	地活	324	0	0	0	324	0
	147人		包括	0	0	0	0	0	0
	無料		生活	0	0	0	0	0	0
帷子小学校 かるがも見学会	子ども	0	地活	0	0	0	0	0	0
	52人		包括	0	0	0	0	0	0
	無料		生活	0	0	0	0	0	0
ひな祭りのリースを 作りましょう	地域	0	地活	0	0	0	0	0	0
	25人		包括	0	0	0	0	0	0
	800円		生活	0	0	0	0	0	0
環境絵日記児童作品展	地域	6,631	地活	6,631	0	0	0	6,631	0
	194人		包括	0	0	0	0	0	0
	無料		生活	0	0	0	0	0	0
貸室説明会 & 交流会	地域	3,964	地活	3,964	0	0	0	0	3,964
	59人		包括	0	0	0	0	0	0
	無料		生活	0	0	0	0	0	0
ボランティア感謝会 & 交流会	地域	29,580	地活	29,580	0	0	0	29,170	410
	74人		包括	0	0	0	0	0	0
	無料		生活	0	0	0	0	0	0
ほっとフレンズ2018春 ボランティア研修・説明 会・運動会	障がい児	0	地活	0	0	0	0	0	0
	58人		包括	0	0	0	0	0	0
	500円(補助金事業)		生活	0	0	0	0	0	0
シニアボランティアポイン ト登録研修会	高齢者	0	地活	0	0	0	0	0	0
	12人		包括	0	0	0	0	0	0
	無料		生活	0	0	0	0	0	0
地域介護予防活動支援 事業 川辺町第二住宅 ほっと倶楽部	高齢者	0	地活	0	0	0	0	0	0
	12人		包括	0	0	0	0	0	0
	無料		生活	0	0	0	0	0	0
地域介護予防活動支援 事業 ダンディーズ体力 測定会	高齢者	0	地活	0	0	0	0	0	0
	54人		包括	0	0	0	0	0	0
	無料		生活	0	0	0	0	0	0
介護予防普及啓発事業 シルバー人材センターの 会員交流会への出張講 座	高齢者	0	地活	0	0	0	0	0	0
	51人		包括	0	0	0	0	0	0
	無料		生活	0	0	0	0	0	0
平成29年度 歌声ひろば	高齢者	40,099	地活	0	0	0	0	0	0
	350人		包括	5,099	35,000	0	0	10,099	30,000
	100円		生活	0	0	0	0	0	0
介護予防普及強化業務 平成29年度介護予防講 演会笑って楽しく介護予 防	地域	16,000	地活	0	0	0	0	0	0
	27人		包括	16,000	0	0	16,000	0	0
	無料		生活	0	0	0	0	0	0
平成29年度 歌声ひろば2	地域	0	地活	0	0	0	0	0	0
	42人		包括	0	0	0	0	0	0
	無料		生活	0	0	0	0	0	0

平成29年度 自主事業収支報告書

介護予防普及強化事業 平成29年度スリーA支援 者養成講座	地域		地活	0	0	0	0	0	0
	38人		包括	48,819	0	0	45,000	3,819	0
	無料	48,819	生活	0	0	0	0	0	0
介護予防普及強化業務 平成29年度介護予防教 室 川辺町第二住宅	高齢者		地活	0	0	0	0	0	0
	53人		包括	49,254	0	0	43,000	4,574	1,680
	無料	49,254	生活	0	0	0	0	0	0
介護予防普及強化業務 平成29年度介護予防教 室 宮田町町内会	高齢者		地活	0	0	0	0	0	0
	62人		包括	37,598	0	0	36,478	0	1,120
	無料	37,598	生活	0	0	0	0	0	0
パークシティ横濱 平成29年度秋季懇談会	地域		地活	0	0	0	0	0	0
	27人		包括	0	0	0	0	0	0
	無料	0	生活	0	0	0	0	0	0
中央地区健康体操講座 への出張	地域		地活	0	0	0	0	0	0
	31人		包括	0	0	0	0	0	0
	無料	0	生活	0	0	0	0	0	0
パイロットハウス絵手紙 教室への出張について	地域		地活	0	0	0	0	0	0
	6人		包括	0	0	0	0	0	0
	無料	0	生活	0	0	0	0	0	0
星川地区見守り連携連 絡会	地域		地活	0	0	0	0	0	0
	88人		包括	0	0	0	0	0	0
	無料	11,158	生活	11,158	0	0	0	11,158	0
ホッとする会	介護者		地活	0	0	0	0	0	0
	10人		包括	0	0	0	0	0	0
	無料	0	生活	0	0	0	0	0	0
男性介護者のつどい	介護者		地活	0	0	0	0	0	0
	19人		包括	0	0	0	0	0	0
	無料	0	生活	0	0	0	0	0	0
介護者支援講座	介護者		地活	0	0	0	0	0	0
	18人		包括	0	0	0	0	0	0
	無料	0	生活	0	0	0	0	0	0
区内病院認知症講座	地域		地活	0	0	0	0	0	0
	35人		包括	0	0	0	0	0	0
	無料	0	生活	0	0	0	0	0	0
地域活動支援 星川2丁 目サロン星の和	高齢者		地活	0	0	0	0	0	0
	168人		包括	0	0	0	0	0	0
	無料	0	生活	0	0	0	0	0	0
地域活動支援 星川3丁 目サロンはなみずき	高齢者		地活	0	0	0	0	0	0
	167人		包括	0	0	0	0	0	0
	無料	0	生活	0	0	0	0	0	0
地域活動支援 川辺町 住宅みんなの体操	高齢者		地活	0	0	0	0	0	0
	308人		包括	0	0	0	0	0	0
	無料	0	生活	0	0	0	0	0	0
地域活動支援 老人クラ ブ明寿会	高齢者		地活	0	0	0	0	0	0
	107人		包括	0	0	0	0	0	0
	無料	0	生活	0	0	0	0	0	0
地域活動立ち上げ支援 ステージ星川居場所作り	高齢者		地活	0	0	0	0	0	0
	74人		包括	0	0	0	0	0	0
	無料	0	生活	0	0	0	0	0	0
地域活動支援 老人クラ ブ宮田町ラクラクラブ への出張	高齢者		地活	0	0	0	0	0	0
	47人		包括	0	0	0	0	0	0
	無料	0	生活	0	0	0	0	0	0
星川一丁目 ひまわりの会への出張	地域		地活	0	0	0	0	0	0
	313人		包括	0	0	0	0	0	0
	無料	0	生活	0	0	0	0	0	0
明神台サロン	地域		地活	0	0	0	0	0	0
	344人		包括	0	0	0	0	0	0

平成29年度 自主事業収支報告書

ひたまり	無料	0	生活	0	0	0	0	0	0
宮田町町内会婦人会 出張講座	地域		地活	0	0	0	0	0	0
	28人		包括	0	0	0	0	0	0
	無料	0	生活	0	0	0	0	0	0
認知症サポーター 養成講座	地域		地活	0	0	0	0	0	0
	238人		包括	0	0	0	0	0	0
	無料	0	生活	0	0	0	0	0	0
PCYふれあい昼食会参 加者向け 出張講座	地域		地活	0	0	0	0	0	0
	78人		包括	0	0	0	0	0	0
	無料	0	生活	0	0	0	0	0	0
区内合同ケアマネ連絡 会	ケアマネジャー		地活	0	0	0	0	0	0
	821人		包括	7,940	0	0	7,540	0	400
	0円	7,940	生活	0	0	0	0	0	0
区内合同主任ケアマネ 向け連絡会	主任ケアマネジャー		地活	0	0	0	0	0	0
	68人		包括	300	0	0	0	300	0
	0円	300	生活	0	0	0	0	0	0
ほどがやケアマネット	ケアマネジャー		地活	0	0	0	0	0	0
	162人		包括	500	0	0	0	0	500
	500	500	生活	0	0	0	0	0	0
			地活						
			包括						
			生活						
			地活						
			包括						
			生活						
			地活						
			包括						
			生活						
			地活						
			包括						
			生活						

事業ごとに別紙に記載してください。

平成29年度 自主事業報告書

横浜市星川地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
サロンほしかわ	<p>【目的】地域の子どもから高齢者まで、あらゆる世代を対象とし、閉じこもり防止を目的に、仲間づくり、域外作りの提供を行っています。異世代交流の場とすることで、趣味を通じた仲間作りをすすめ、地域の助け合いの輪がひろがるよう、地域ケアプラザの機能を発揮します。</p> <p>【内容】趣味のコーナーを設け、地域のボランティアが講師として協力いただいたり、自主運営しています。毎週開催される編み物、習字、カラオケの他、月1回開催のコーナーも参加者が定着し、地域で趣味を同じくする人たちの交流の場となっています。</p>	毎週火曜日 (お盆、年末年始、 第5週を除く) 全43回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
ミニデイ	<p>【目的】要支援・要介護状態とならないように、高齢者を対象として外出の機会を設け、お互いの交流の場として仲間づくりの支援をします。</p> <p>【内容】地域包括支援センターの相談のあった方で、一人暮らしなどで外出機会の少ない高齢者を対象として実施しました。午前中は、貸室登録団体によるレクリエーションを実施した後、地域包括支援センター職員による介護予防や消費者被害防止等の情報提供、チューリップ体操や口腔体操等を実施しました。ヘルスマイト有志の協力により、栄養に留意した手作りの料理を提供しました。</p>	毎月第4水曜日 (8月12月を除く) 全10回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
シニア体操	<p>【目的】貸室団体の協力を得て、地域のシニア世代を対象に、在宅生活を健康で過ごすための介護予防として、体操教室を実施します。また運営を通して、貸室団体の力量の向上を図ります。</p> <p>【内容】転倒骨折予防教室OBの協力で体操教室を運営しています。登録制により第1・3(火)は三期会、第2・4(火)はハッピー会が運営し、セラバンド・ボール運動や「はまちゃん体操」「チューリップ体操」等を実施しました。平成28年より登録制となっていました。30年度からの自主化で二つのグループが誕生しました。</p>	毎週火曜日 (お盆、年末年始、 第5週を除く) 全44回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
子育て広場	<p>【目的】未就園児とその保護者を対象とした子育て支援の一環として実施します。育児におけるさまざまな専門機関と連携し、身近な子育て情報の提供を行い、育児不安の軽減を図ります。また、地域の身近な場所でシニア世代のボランティアに参加してもらうことで、世代を超えた交流の場を作ります。</p> <p>【内容】手作りおもちゃを活用した親子のつどいの広場です。毎月テーマを設けて、貸室団体や子育て支援連絡会等地域ボランティアと連携したプログラムを実施しました。子育て中の親子の交流の機会や、悩みを相談できる場となりました。</p>	毎月第3金曜日 (7月8月12月を除く) 全9回

平成29年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
中央地区配食ボランティアの後方支援	<p>【目的】中央地区で福祉保健活動に取り組んでいる団体、グループ、個人等が共に考え、作り上げていく活動です。それぞれの活動の推進とともに、課題を共有し、地域課題に向けて取り組み、支えあいの地域づくりの発展を目指します。</p> <p>【内容】住民同士の支えあい活動として、中央地区在住の方を対象に月1回配食活動を実施しているボランティア団体の支援を行いました。同じエリア在住の高齢者等に食事を届け、栄養改善や定期的な見守り活動として継続的に実施できました。</p>	毎月第3水曜日 (8月休み) 全11回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
包丁研ぎ個人講座	<p>【目的】地域活動団体「男助っ人隊」による、生活支援事業です。元調理師の講師を中心に、団体の特技を生かした活動の一環として、地域の在宅高齢者の生活支援の一環として、包丁研ぎ講座を実施しています。</p> <p>【内容】季節ごとに定期的に包丁研ぎ講座を実施しました。高齢者を対象に、生活支援の一環として包丁研ぎや研ぎ方の講習を行いました。</p>	6月17日(土) 9月16日(土) 12月16日(土) 3月17日(土) 全4回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
布おもちゃの貸し出し	<p>【目的】親子のスキンシップの向上や子育て支援グループのレクリエーション用として貸し出しを行います。また、布おもちゃの製作や貸し出しを通して、福祉保健団体と地域の方々との結びつけを行います。</p> <p>【内容】星川地域ケアプラザ1階ラウンジに布おもちゃスペースを設け、貸出業務を行いました。子育て支援事業「子育て広場」や「かるがも☆こころのリズム教室」で布おもちゃを使用し、手作りの良さや遊びの広がり役立ちました。事業の参加者や広報紙で紹介し、貸し出し利用につなげることができました。</p>	開館日

事業名	目的・内容	実施時期・回数
子ども寺子屋	<p>【目的】地域のシニアボランティアの協力により、異世代交流とともに、地域の歴史や文化に親しむ機会を作り、他者へのおもいやりの心を育てていきます。地域の大人と一緒に子どもたちを育てるネットワークを作り、地域コミュニティの活性化につなげます。</p> <p>【内容】15分間の宿題や自習などのあとテーマを設け、折り紙や言葉遊び、昔遊びなどのプログラムを実施しました。地域のシニアボランティアとの交流を中心に、テーマにより老人クラブや地域の活動団体と、折り紙やけん玉、グリーンカーテン作りなど多様な体験型の異世代交流を実施しました。</p>	毎月2～3回程度 の水曜日 全27回

平成29年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
かるがも☆こころのリズム教室	<p>【目的】子どもの発達に不安のある保護者の育児支援です。音や音楽を通して、子どもの5つの感覚の発達を促します。遊びを通して、子どもとの向き合い方を学びます。</p> <p>【内容】特別支援教育士による音と音楽遊びと子育て相談を実施しました。講師持参の五感を刺激する様々な道具やケアプラザの布おもちゃを利用して、親子のコミュニケーションを図りながら、個別に発達の悩みの相談にあたりました。決まったプログラムはなく、その日その子どもたちの様子に応じたプログラムを展開することで、親子の成長につながりました。</p>	毎月第1金曜日 (5月12月を除く) 全10回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
リンパマッサージ&ストレッチ	<p>【目的】在宅生活を健康にすごしていくために、体操教室を実施します。地域の高齢者に外出の機会を提供、閉じこもりを予防し、また更年期などで体の変調に不安を感じている中高年、子育て中の母親など、広く地域住民を対象としています。</p> <p>【内容】講師を招き、リンパマッサージやストレッチを行いました。参加者は70代が中心でしたが、6回中3回を土曜日に設定したことで、普段は働いている50代の参加も増えました。介護予防、健康維持の意識の高い70歳以上の方のニーズが高く、地域住民の健康作りに役立ちました。</p>	5月27日(土) 7月29日(土) 9月8日(金) 10月13日(金) 1月27日(土) 3月9日(金) 全6回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
かるがも体操教室	<p>【目的】地域の高齢者を対象に、自らの健康作りに意欲的に取り組み、介護予防につなげます。地域における交流の機会の提供します。</p> <p>【内容】近隣のスポーツ施設メガロス協力による介護予防、健康教室です。65歳以上高齢者を対象に、座ってできる筋力アップのストレッチや転倒予防の体操、脳トレを実施しました。</p>	毎月第1木曜日 (8月1月を除く) 全10回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ネーブルの会～みんなで認知症を考える会～	<p>【目的】認知症についての理解を深め、支援者を地域に広げていきます。地域住民と連携し、認知症本人や家族を支える仕組みを構築していくための足がかりを目指します。</p> <p>【内容】ネーブルの会のメンバー主催による認知症カフェ「ネーブル倶楽部」を隔月で6回開催しました。また、メンバーの協力により認知症サポーター養成講座を開催することができました。認知症になっても住みやすい地域作りに向けて活動をしているネーブルの会の自主化にむけて、会場提供や広報、活動に対する助言などで支援しました。</p>	偶数月の日曜日 奇数月の土曜日 全12回

平成29年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
中央地区ウォーキング教室	<p>【目的】中央地区第3期地域福祉保健計画（ほっとなまちづくり）におけるウォーキング計画に連携して取り組みます。自らの健康作りに意欲的に取り組み、介護予防につなげ、新しい交流の機会を提供します。</p> <p>【内容】横浜市体育協会講師を中心に、中央地区保健活動推進員協力による体力測定を実施しました。脳トレ・ストレッチ後はウォーキング姿勢の講習を実施しました。2回目は会場を地域の公園に移し、身近な地域をウォーキング。姿勢指導があり、日頃実践されている方にも好評でした。</p>	6月24日（土） 11月11日（土） 全2回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
夏だ！プールへ行こう！	<p>【目的】公共のプールを利用しにくい3歳以下の未就園児とその保護者を対象とした子育て支援の一環として実施します。地域の身近な場所で日常的な交流の場を作り、今後において地域活動へ参加するきっかけとなる場、地域福祉に関心をもつきっかけとなる場を提供します。</p> <p>【内容】個人参加が多く、おむつで安心して水遊びができることへの満足があり、幼児の初めての水遊びを応援できました。</p>	7月21日（金） 8月2日（水） 8月18日（金） 8月23日（水） 全4回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
スカイダックに乗ろう	<p>【目的】「充実したひと時を過ごせる活動の場」を提供として親子で安心して外出のできる場所を利用して親子同士の交流を図ります。ケアプラザが連携して合同事業の拡充を図ります。</p> <p>【内容】保土ヶ谷区学齢障害児フレンドサポート助成金を活用して、みなとみらい周辺への外出企画です。横浜水陸両用バス「スカイダック」に親子で乗船して、その後昼食を日本丸近くで取り交流を図りました。最後に大自然エンタメミュージアムオービィ横浜を見学して一日を親子で楽しみました。</p>	8月24日（木） 全1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
着付けを習ってゆかたデビュー	<p>【目的】浴衣の着付けを学び、踊りを体験することで、地域の盆踊りに積極的に参加するきっかけを作り、地域行事を盛り上げ、若い親子の地域参加・世代間交流につなげます。貸室団体の特技を生かしたボランティア活動を促進します。</p> <p>【内容】ゆかたの着付け、帯の結び方を順に指導。その後、炭坑節と区の歌音頭の指導があり、輪になって踊りました。</p>	7月27日（木） 全1回

平成29年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
パパと一緒にクッキング	<p>【目的】普段は仕事で不在がちな父親と子どもが、共同作業を通して親子のふれあいを深める機会を提供します。母親に少しだけ家事や育児から解放される時間を提供します。同じ年ごろの子どもをもった父親同士の交流の機会とします。また貸室団体の特技を生かしたボランティア活動を促進します。</p> <p>【内容】1回目はうどん作り、2回目は餃子作りと、小さい子どもでも混ぜたりこねたり叩いたり、と感触を楽しみながら取り組みました。食事の後は子どもたちに引いてもらったくじで、片付けチームと保育チームに分かれ、お父さんに最後まで頑張ってくださいました。</p>	9月9日 (土) 3月24日 (土) 全2回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
調理室大掃除ボランティア大作戦!!	<p>【目的】ケアプラザは地域の共有財産であるということの意識づけのきっかけにします。貸室利用団体の協力を募って掃除することで、施設利用の仕方や関わりを意識します。</p> <p>【内容】第1回は油污れの激しいレンジ周りとコンロを中心に2回目は調理室全体を掃除しました。回を重ねる毎に貸室使用への意識が高まり、貸室の使い方の理解と共に互いの活動を知る交流の良い機会となっています。</p>	9月16日 (土) 3月10日 (土) 午前・午後 全3回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ほっとフレンズ2017夏ボランティア研修・説明会・夏祭り	<p>【目的】① 普段は、学校と家庭の往復になりがちな障がい児に、「新たな出会いの場」「生活経験を拡大できる場」「充実したひと時を過ごせる活動の場」を提供します。② 障がい児を抱えた家族のレスパイトを図ります。③ 障がい理解のある地域のボランティア・学生ボランティアの育成を図ります。④ 関係諸学校及び団体との協力関係を深め、区内の地域ケアプラザが、障がい児の支援における地域ネットワークの一員となるように継続的に努めます。</p> <p>【内容】区内障がい児者関係機関と連携し、ほっとフレンズ実行委員会で余暇プログラムを企画。参加者は学生や地域のボランティアとペアになり、夏休みの一日を楽しみました。午前は季節を感じる行事とゲーム等を実施、午後は講師を招いてレクスポ大会を実施しました。実施日前にはボランティア説明会を実施。保土ヶ谷養護学校教諭によるボランティア研修と注意事項の説明を行い、障がいの理解に努めました。経費総額102,000円は、保土ヶ谷区学齢障害児フレンドサポート事業の補助金(92,000円)及び参加費10,000円(⑤500円×20人)で賄いました。</p>	7月22日 (日) 7月30日 (日) 全2回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
区民まつりへの事業参加	<p>【目的】区民が多数来場する「区民まつり」に区内全てのケアプラザの担当職員が参加することで、顔の見える関係づくりを図ります。ケアプラザが地域住民にとって身近で気軽に相談・活動できる施設であることを理解していただき、今後の福祉保健活動へとつなげます。</p> <p>【内容】福祉保健センター1区分を使用しケアプラザの周知を行いました。「Youは何しにCPへ？」をタイトルに、フローチャートを用いて自分に合った活動分野を診断しました。その後、診断シートで各ケアプラザの分野ごとの活動を紹介しました。手作りのマイクを使ってインタビュー形式に来場者に声掛けすることで、来場者の興味がわくようにしました。また、ケアプラザの職員が来場者と直接コミュニケーションを図れるよう工夫しました。その他、ケアプラザ自主事業をポスターにまとめ、チラシを配布することで自主事業の周知も実施しました。</p>	10月14日 (土) 全1回

平成29年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ほっしいーのわいわいフェスティバル2017	<p>【目的】地域ケアプラザの機能を深く地域に浸透できる機会とし、区内の地域人材、貸室団体をはじめとした活動団体や福祉作業所など出会い、ふれあい、つながり、地域活力が一層力強く地域を支える力となることをめざします</p> <p>【内容】地域の施設や貸室団体、また事業に協力していただいている個人の方など、幅広く連携しながら実施しました。かるがも駐車場で模擬店、かるがも1階ダイルームでコンサート、地域作業所やボランティア団体によるバザー出店、ちびっこひろばなど実施しました。</p>	11月19日（日） 全1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
親子deクリスマス!!	<p>【目的】3歳以下の未就学児とその保護者を対象とした子育て支援の一環として実施します。地域の身近な場所で日常的な交流の場で、定年後の男性グループの方や布おもちゃ製作グループちくちくと一体となったイベントを開催することで福祉活動の理解を図ります。</p> <p>【内容】親子で楽しむクリスマス会。地域のボランティアによる腹話術とバルーンアートと工作としてスクラップブックングを実施しました。男性ボランティアによるサンタが登場して、ボランティアグループちくちくさん手作りの布おもちゃを渡しました。</p>	12月15日（金） 全1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
出張サンタ～サンタが街へやってくる?!	<p>【目的】地域ケアプラザに登録する男性ボランティアを中心にサンタクロースとなり、施設外ボランティアを実施します。エリア内を中心とした子育て支援団体・サークルに出向き、子育て支援としてのボランティア派遣することで、施設の機能理解を図ります。男性の社会参加の場を提供することで、地域活動の活性を図ります。</p> <p>【内容】地域のクリスマス会にサンタが出張し、プレゼントを配ったり写真を撮ったり、プログラムを盛り上げています。サンタ役の男性ボランティアは、どこへ行っても喜んでもらえるので、担い手のモチベーションにもつながっています。</p>	12月14日（木） 12月17日（日） 12月18日（月） 12月20日（水） 12月22日（金） 全5回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
帷子小学校 かるがも見学会	<p>【目的】小学生を対象とした福祉教育・ボランティア体験学習事業及び異世代間交流の一環として実施します。かるがもという施設の見学を通し、福祉の理解、関心のもてる場を提供、今後の高齢者・障がい者理解へとつなげていきます。</p> <p>【内容】施設の特性の説明と見学。2クラスに分かれ、デイサービス、貸室、社会福祉協議会の施設を見学しました。デイサービスではレクリエーションに参加でき、日頃ふれあうことの少ない高齢者と交流の機会を提供できました。</p>	10月12日（木） 全1回

平成29年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ひな祭りのリースを作りましょう	<p>【目的】貸室団体の活動の支援。園芸を使った多世代交流によって、子育て支援につなげます。</p> <p>【内容】ひな祭りのリースを制作。子育て世代6組、シニア世代13人が混じった形でグループに分かれ、制作を楽しみました。子どもの遊べるスペースを作り、見守りながら母親も制作活動を楽しむことができました。作品を作ったあとはお茶を飲みながら話に花が咲き、異世代交流の良い機会となりました。</p>	2月22日（木） 全1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
環境絵日記児童作品展	<p>【目的】小学生とその養育者、家族などに地域ケアプラザを知ってもらうことや環境問題に関心を持ってもらうきっかけ作りです。市や関連団体、企業等との連携した事業を行うことで、地域の活性化を図ります。</p> <p>【内容】担当地域で環境絵日記に参加している峯小学校、星川小学校の児童の作品をケアプラザ館内に掲示し、児童の取組を地域の方へ知っていただき環境問題の啓発を図りました。小学校ごとに作品を模造紙に貼り1週間ごとに掲示しました。地域の方が感想を書くコーナーを設け、実施状況を各小学校へ報告しました。</p>	3月17日（土）～3月24日（土） 3月25日（日）～3月31日（土） 全2回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
貸室説明会&交流会	<p>【目的】日頃から横浜市星川地域ケアプラザの貸室を利用している方に、地域ケアプラザの貸室利用目的の再確認、福祉保健活動の理解を深めるきっかけとします。交流会をきっかけに、団体の活動のヒントを得たり、悩みの軽減、発展につなげます。</p> <p>【内容】パワーポイントを使用し、前半はケアプラザの貸館の意義を説明し、福祉保健活動の意味と利用に当たっての注意事項について説明しました。後半は事前に実施したアンケートを元に団体の困っていることや活動してよかった点をまとめ、ボランティア活動の事例紹介や発表を行いました。</p>	2月23日（金） 全1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ボランティア感謝会&交流会	<p>【目的】星川地域ケアプラザで活動している多くのボランティアに感謝の意を表するとともに、他のボランティアと交流することで、情報交換や出会いの場を提供し、活動に広がりを持ったり、悩みの共有や問題解決の助けとします。</p> <p>【内容】午前を個人のボランティア、午後を団体のボランティア対象に2回実施しました。各回とも参加者の活動紹介として、感謝状に載せた写真をスライドに映し、自己紹介やボランティアの感想を述べていただきました。懇談の後は最後に活動の一環として3グループ(個人)に演芸を披露していただき、参加者とともに楽しんでいただきました。</p>	3月12日（月） 午前・午後 全2回

平成29年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ほっとフレンズ 2018 春 ボランティア研 修・説明会・ 運動会	<p>【目的】① 普段は、学校と家庭の往復になりがちな障がい児に、「新たな出会いの場」「生活経験を拡大できる場」「充実したひと時を過ごせる活動の場」を提供します。② 障がい児を抱えた家族のレスパイトを図ります。③ 障がい理解のある地域のボランティア・学生ボランティアの育成を図ります。④ 関係諸学校及び団体との協力関係を深め、区内の地域ケアプラザが、障がい児の支援における地域ネットワークの一員となるように継続的に努めます。</p> <p>【内容】区内障がい児者関係機関と連携し、ほっとフレンズ実行委員会で保土ヶ谷スポーツセンターで開催する余暇プログラム「運動会ダヨ! 全員集合」を実施しました。学生や地域のボランティアとペアになり、午前は体を動かして参加するミニ運動会を実施しました。午後は講師を招いてヒップホップダンスを実施しました。ボランティア説明会を実施し、ボランティア研修と注意事項の説明を行い、障がいの理解に努めました。経費総額99,500円は、保土ヶ谷区学齢障害児フレンドサポート事業の補助金(92,000円)及び参加費7,500円(⑤500円×15人)で賄いました。</p>	3月18日(日) 3月25日(日) 全2回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
シニアボラン ティアポイント 登録研修会	<p>【目的】地域の元気な高齢者に地域貢献活動の機会を提供し、いきがい・交流につなげ、共助の意識を高めます。また、地域の福祉施設にシニアボランティアポイントの周知をし、ボランティア獲得の手段として活用します。</p> <p>【内容】かながわ福祉サービス振興会のシニアボランティアポイント研修会のスライドに従って制度を説明をしました。引き続きケアプラザのボランティア活動についてスライドで説明し、具体的な活動をイメージしていただきました。また、近隣施設として子育て支援活動拠点こっころを紹介しました。実際に活動しているボランティアさんに体験談を話していただきました。</p>	1月30日(火) 全1回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
地域介護予防活 動支援事業川辺 町第二住宅 ほっと倶楽部	<p>【目的】体組成測定を行い、生活習慣の振り返りを行うことで、健康増進・介護予防への取り組みのモチベーションを維持・向上の目的のため実施しました。</p> <p>【内容】体力測定(体組成・血圧・握力)を実施しました。結果について結果について説明とロコモ度の低い方が多かったため、ハマトレを座って実施しました。</p>	5月30日(火) 全1回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
地域介護予防活 動支援事業 ダンディーズ体 力測定会	<p>【目的】介護予防について取り組んでいる体操グループの参加者に対して、介護予防についての普及啓発のため、体組成測定を行い、健康増進・介護予防への取り組みのモチベーションを維持・向上の為の支援をしました。</p> <p>【内容】ケアプラザで体操の自主グループ活動をしている「ダンディーズ」に対し、体力測定(体組成・血圧・握力)を実施し、結果を渡しました。また、交流会に参加し、顔の見える関係づくりに努めました。</p>	5月13日(土) 8月12日(土) 9月23日(土) 1月23日(土) 全4回

平成29年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
介護予防普及啓発事業シルバー人材センターの会員交流会への出張講座	<p>【目的】ロコモティブシンドロームの普及啓発を目的としました。</p> <p>【内容】身長測定とステップ値測定後、健康寿命についてやロコモティブシンドロームの説明を行い、ハマトレ（猫背改善）と保土ヶ谷体操・30秒開眼片足立ちをした。また栄養や睡眠の話をしました。</p>	6月20日(火) 全1回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
平成29年度 歌声ひろば	<p>【目的】体操や歌を歌うこと、また参加者同士の交流を通して、心身機能の低下を防止し介護予防を目的としました。</p> <p>【内容】（アコーディオン演奏）の元、約20曲を歌いました。6年目を迎える事業のため、アンケートの実施したり、歌う前に体操をして介護予防の要素を追加しました。3月は雪のため中止となりました。</p>	4月～2月 第3水曜日 全11回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
介護予防普及強化業務 平成29年度介護予防講演会 笑って楽しく介護予防	<p>【目的】介護予防を意識した生活の仕方や笑いの効果について学べるようにした。</p> <p>【内容】講師による講義と体を動かす脳トレの体験をした。元気に暮らすには認知症と転倒の対策が重要であると話がありました。社会脳を育てる事や脳トレをする時は事前に意義や効能を理解してから行うと効果的であることや歩幅を広くする事、人の顔見て話をする事、新しい物に出会う事、知らない人と話す事、間違っても挑戦する事の大切といった内容で講話がありました。また、椅子に座っての身体を動かしたり、実際にペアや4人組になり大人のしりとり等のレクを実践しました。</p>	8月29日(火) 全1回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
平成29年度 歌声ひろば2	<p>【目的】外出の機会や歌を歌うことで心身機能の低下を防止し、介護予防を目的として開催しました。</p> <p>【内容】星川音楽クラブ（ギター）の演奏の元、約17曲の歌を歌いました。声を出す事で心身機能の活性化を図りました。</p>	8月30日(水) 1月26日(金) 全2回

平成29年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
介護予防普及強化業務 平成29年度 スリーA支援者 養成講座	<p>【目的】地域でサロンの活動をしている民生委員と支援者の方に参加を呼び掛けて、スリーAについて学び、サロンでの活用を進めて活性化をする事と新たな担い手の養成を目的に開催しました。</p> <p>【内容】認知症の症状のある方の心理状況を学び、スリーAの考えに基づいた脳トレのプログラムや相手を認めたり、支えたり、癒すといった自尊心を大切にする（やさしさのシャワー）を意識した声掛けの仕方について学びました。最終日には実際にゲームを進行する体験をしました。</p>	9月4日(月) 9月11日(月) 9月17日(日) 全3回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
介護予防 普及強化業務 平成29年度 介護予防教室 川辺町第二住宅	<p>【目的】介護予防普及啓発をするため、健康寿命が延ばす事を意識して生活が出来き、介護予防について一緒に取り組めるように人と人のつながりが出来るように開催をしました。</p> <p>【内容】ロコモティブシンドロームについての説明と体操の実施、高齢者の栄養についての講義と試食、フットケアの重要性とフットケアの仕方、口腔ケアについて学びました。脳トレも行い交流が図れるにしました。また、毎回歌を歌いました。</p>	7月25日(火) 9月26日(火) 11月28日(火) 1月30日(火) 3月27日(火) 全5回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
介護予防 普及強化業務 平成29年度 介護予防教室 宮田町町内会	<p>【目的】介護予防普及啓発をするため、健康寿命が延ばす事を意識して生活が出来き、教室終了後宮田町として介護予防について取り組める場づくりをする事を意識して開催しました。</p> <p>【内容】宮田町福祉部と連携を図り、ロコモティブシンドロームについての説明と体操の実施、高齢者の栄養についての講義と試食、口腔ケアについて学びました。名札をつけ名前が分かるようにしたり、講座の後半に茶話会をして、講師へ質問しやすく、参加者同士が話やすい雰囲気が出来るようにしました。</p>	11月21日(火) 12月13日(水) 1月25日(木) 2月23日(金) 全4回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
パークシティ横濱 平成29年度秋 季懇談会への出張	<p>【目的】認知症への理解とレクリエーションを通して、楽しく認知症予防に取り組む方法を伝える目的で開催しました。</p> <p>【内容】認知症の検査や症状の変化と本人と家族の心情、相談機関についての情報提供をオレンジガイドを用いて行いました。また、認知症の予防が楽しみながら出来るスクエアステップを紹介して体験をしました。ネーブルの会や中央地区保健活動推進員に協力を依頼して実施しました。</p>	11月25日(土) 全1回

平成29年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
中央地区健康体操講座への出張	<p>【目的】 保土ヶ谷スポーツセンターにて中央地区社協と中央地区保健活動推進委員主催の健康体操講座があり、地域住民の健康作りに取り組む地区社協活動を支援をする目的で実施しました。</p> <p>【内容】 保土ヶ谷スポーツセンターが筋力維持体操の指導と体力測定を行い、保健活動推進委員は体力測定者を担当しました。星川地域ケアプラザはスクエアステップリーダー資格を持つ職員2名がスクエアステップを指導して健康づくりの活動を支援しました。4つグループを作り、グループ内で交流が図れるように工夫をしました。</p>	3月9日(金) 全1回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
パイロットハウス絵手紙教室への出張について	<p>【目的】 座って行う絵手紙教室の中で体を動かすプログラムを加えて介護予防の普及を進める目的で支援をしました。</p> <p>【内容】 事前の打ち合わせを行い、活動内容を把握して実施しやすい体操を紹介をし希望の体操を確認をした。当日は絵手紙教室で絵手紙を書いた後にわがまち保土ヶ谷体操DVDを使い体操を行い感想を伺いました。</p>	3月26日(月) 全1回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
星川地区見守り連携連絡会	<p>【目的】 星川地区で様々な地域活動をしている住民と見守りや支え合いの活動や仕組み作りについて協議できる場を設定し、継続や発展につなげていくために実施します。</p> <p>【内容】 見守りや支え合いのためのネットワーク作りの大切さ、身近な居場所作りの推進が支え合いにつながること、高齢者の生きがい作りや社会参加への取組推進の必要性について共有する場となった。</p> <p>又、住民主体でできる仕組み作りを進めていけるよう、様々な立場の方々と意見交換をしながら仲間作りつながっていることが共有できました。</p>	7月9日(水) 2月18日(日) 全2回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
ホッとする会	<p>【目的】 介護者という同じ立場同士でできる日頃の悩みや想いを共有する場を作りました。リラックスした雰囲気や気心知れた仲間と話をする中で、ストレスや介護負担の軽減を図ることを目的に開催しました。</p> <p>【内容】 かるがも1階喫茶クレヨンやケアプラザ館内で茶話会を実施。近況を話す中で悩みや想いを受け止め労う会となった。また、参加者自身の体験から、お互いに情報交換する場となった。</p>	4月15日(土) 8月19日(土) 10月21日(土) 12月12日(土) 2月17日(土) 全5回

平成29年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
男性介護者のつどい	<p>【目的】男性介護者が同じ立場の方同士で交流をもつ事で、介護に関する悩みの共有や、前向きに介護ができる様に情報交換。日頃の介護ストレスを解消できる機会を目的に開催しました。</p> <p>【内容】</p> <p>1回目：茶話会 2回目：エンディングノートについて 3回目：体組成計や体力チェック、茶話会 4回目：ヒートショックの情報提供、茶話会 5回目：消費者被害情報提供、茶話会 6回目：茶話会</p>	5月31日（水） 7月26日（水） 9月27日（水） 11月29日（水） 1月31日（水） 3月29日（水） 全6回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
介護者支援講座	<p>【目的】介護をしている方や今後介護者となる可能性がある方などを対象に開催しました。介護者や今後介護者になる方にとって、役立つ内容の情報提供を行いました。</p> <p>【内容】「夫婦・親子で知っておきたい終活教室」後見・遺言・相続に関する講座を開催しました。</p>	10月28日 全1回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
区内病院認知症講座	<p>【目的】病院に診察に訪れる方やその家族を対象として認知症講座を開くことで、普段ケアプラザに来る機会のない層へ認知症に関する正しい知識を持って頂く機会とします。また、併せてケアプラザに関する周知活動も行うことで、区内全体でのケアプラザへの認知度向上も目指します。</p> <p>【内容】育生会病院では、横山医院の先生方による講演を「認知症の予防と対策」「ロコモティブシンドロームについて」「予防体操」の3部構成で実施した。またケアプラザからは「地域ケアプラザとは」の内容でケアプラザの周知をおこないました。横浜保土ケ谷中央病院では、横浜保土ケ谷中央病院の継続看護担当師長から「認知症とその対応について」の講演を実施しました。また、ケアプラザからは「介護保険・地域ケアプラザの役割」「オレンジカフェについて」講演を実施しました。</p>	10月21日（土） 11月6日（水） 全2回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
地域活動支援 星川2丁目サロン星の和	<p>【目的】住民主体の居場所作りを充実させ、継続・発展ができるよう地域作りを推進していきます。人と人とのつながりができることで、住民同士の見守りや支えあい、困った時の早期相談ができるネットワーク作りを進めます。</p> <p>【内容】住民主体の居場所作りが充実し、季節を感じられるのんびり楽しいひとときとなるようなサロンが開催できるよう、企画や運営の後方支援をするために定期的に出張しました。</p>	4月15日（土） 5月27日（土） 6月17日（土） 8月19日（土） 10月28日（土） 11月18日（土） 12月16日（土） 1月30日（土） 2月17日（土） 3月17日（土） 全10回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
地域活動支援 星川3丁目サロンはなみずき	<p>【目的】地域住民の健康作りや介護予防などの取組が続けられるよう、担い手育成につながる研修案内をしたり地域住民が主体的に運営できるような仕組み作りを進めます。</p> <p>【内容】地域住民の介護予防や閉じこもり予防を目的としたサロンの定期開催が定着するよう、企画や運営の後方支援をするために定期的に出張しました。介護予防の意識啓発の一つとしてチューリップ体操や参加者自身でできる体操を実施しました。</p>	4月20日（木） 5月18日（木） 6月15日（木） 7月20日（木） 8月3日（木） 10月19日（木） 11月16日（木） 12月21日（木） 2月25日（日） 3月22日（木） 全10回

平成29年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
地域活動支援 川辺町住宅みんなの体操	<p>【目的】住民主体の通いの場を充実させ、参加者同士や通いの場が見守り・支えあいの場に拡大していくような地域づくりを推進します。高齢化が進み担い手不足の中、要介護状態になっても生きがいや役割を持って生活できる地域作りを進めます。</p> <p>【内容】参加者自身が役割意識を持ち参加できるような身近な集いの場が定着するように企画や運営の後方支援をするため定期的に出張しました。</p>	毎月第2・4 (木) 全24回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
地域活動支援 老人クラブ明寿会	<p>【目的】自宅に閉じこもらず健康作りや介護予防等に前向きに取り組めるよう、役員と相談しながら参加者のためになるような活動の支援や勉強会の企画を行います。</p> <p>【内容】生活支援体制整備事業についての説明を行い、地域のつながりや支えあいの大切さ、介護予防・社会参加・生活支援の仕組み作りについて意識を持ってもらえるようなきっかけを作りました。活動がより活発になるよう、自分達でできる健康作りや介護予防体操を実施しました。</p>	5月17日 (水) 8月16日 (水) 11月18日 (土) 12月20日 (水) 3月21日 (水) 全5回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
地域活動立ち上げ支援 ステージ星川居場所作り	<p>【目的】住民主体の居場所作りが進み、継続や拡大できるような地域づくりを推進します。人と人とのつながりを作り、住民同士の支えあいやネットワーク作りを推進します。</p> <p>【内容】身近な集いの場が定着するように企画や運営の後方支援をするために定期的に出張しました。住民同士でできる活動が進むよう、適宜打ち合わせを行い支援しました。</p>	5月27日 (土) 9月30日 (土) 11月25日 (土) 1月27日 (土) 全4回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
地域活動支援 老人クラブ宮田町ラクラクラへの出張	<p>【目的】老人クラブ会員の介護予防や健康作り、社会参加等が進められるよう支援します。また、閉じこもりがちの方ともつながり、関わりが持てるような意識作りをします。</p> <p>【内容】介護予防の要素を取り入れたいと希望があったため、指体操・若返り指体操・リズム体操を取り入れ実施しました。参加者が高齢化しているため、集中力が保てるよう配慮し自宅で続けられるような脳トレも実施しました。</p>	11月17日 (金) 2月14日 (水) 全2回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
地域活動支援 老人クラブ宮田町ラクラクラへの出張	<p>【目的】老人クラブ会員の介護予防や健康作り、社会参加等が進められるよう支援します。また、閉じこもりがちの方ともつながり、関わりが持てるような意識作りをします。</p> <p>【内容】介護予防の要素を取り入れたいと希望があったため、指体操・若返り指体操・リズム体操を取り入れ実施しました。参加者が高齢化しているため、集中力が保てるよう配慮し自宅で続けられるような脳トレも実施しました。</p>	11月17日 (金) 2月14日 (水) 全2回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
星川一丁目 ひまわりの会への出張	<p>【目的】地域住民（主に高齢者）に対して、健康増進や介護予防の必要性を理解してもらい、継続して取り組めるよう支援します。又、介護や権利擁護、地域見守りネットワークなどの情報提供を適宜行ってことを目的に出張します。</p> <p>【内容】参加者の高齢化が進んでおり、介護の情報提供や様々な注意啓発の機会が定期的に持てるよう出張しました。一人暮らしや高齢世帯の課題把握をし、早期介入ができるよう顔の見える関係作りを進めました。</p>	4月5日 (水) 5月3日 (水) 7月5日 (水) 9月6日 (水) 10月4日 (水) 11月1日 (水) 12月6日 (水) 2月7日 (水) 3月7日 (水) 全9回

平成29年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
明神台サロン ひだまり	<p>【目的】 地域高齢者に対して、健康づくりや介護予防、権利擁護に関する情報提供をしたり、交流を深めたりサロンの活動支援を行います。 参加者から相談を受けれるよう、出張相談の時間を設けます。</p> <p>【内容】 体力測定や体操、脳トレを行ったり、介護予防情報や地域参加の大切さ、ケアプラザの情報提供をいたしました。出張相談の時間を設け、参加者が相談しやすい関係づくりを進めました。</p>	4月11日（火） 5月9日（火） 5月23日（火） 6月13日（火） 6月27日（火） 9月12日（火） 10月10日（火） 11月28日（火） 12月26日（火） 1月9日（火） 2月13日（火） 2月27日（火） 3月13日（火） 全13回
事業名	目的・内容等	実施時期・回数
宮田町町内会婦 人会 出張講座	<p>【目的】 介護保険制度の移り変わりや時代背景について理解し、住民同士のつながりや支え合いの必要性を知る機会をつくります。出張講座を通して、地域住民との顔の見える関係作りを進めます。</p> <p>【内容】 「もしもの時のために『知っておこう介護に関する知識』講座」を実施しました。保土ヶ谷介護事務所のサービス提供責任者と福祉用具センターの福祉用具専門相談員を講師に招き、「もしもの時に備えること」をテーマとした講座を実施しました。介護保険制度の移り変わりや日常生活の中で起こりうる事故と予防策について講話を行いました。また、起き上がりや立ち上がりの実技と併せて福祉用具の説明を行いました。</p>	10月25日（水） 全1回
事業名	目的・内容等	実施時期・回数
認知症サポ ーター養成講座	<p>【目的】 認知症サポーター養成講座を開催し、認知症について正しい知識をもち、認知症の人や家族を応援し、誰もが暮らしやすい地域づくりを進めます。</p> <p>【内容】 ケアプラザ内外にて講座を実施。認知症の種類、症状、行動、認知症の人の気持ちと接し方、サポーターの役割等を伝え、認知症の理解を広げ地域啓発を行いました。キャラバンメイトによる寸劇など、地域住民との連携の機会ともなりました。</p>	7月1日（土） 7月22日（土） 8月16日（水） 8月30日（水） 10月3日（火） 10月26日（木） 11月29日（水） 1月22日（月） 3月17日（土） 全9回
事業名	目的・内容等	実施時期・回数
PCYふれあい昼食 会参加者向け 出張講座	<p>【目的】 高齢者が自室に閉じこもらず地域活動に参加できるよう、自治会や老人クラブの担い手がきっかけを作っています。介護予防や閉じこもり予防を目的としているため、見合った情報提供ができるよう支援します。</p> <p>【内容】 介護予防や閉じこもり予防ができるよう、健康作りのポイントを説明し、ケアプラザの事業案内をいたしました。また、会の目的に沿った取組として、介護予防体操や脳トレ、成年後見制度の概要説明と紹介をいたしました。</p>	10月7日（土） 3月3日（土） 全2回
事業名	目的・内容等	実施時期・回数
区内合同ケアマ ネ連絡会	<p>【目的】 区内及び隣接区の居宅介護支援事業所のケアマネジャーに対して、研修会や情報交換会など資質向上を目的とした内容で開催をいたしました。</p> <p>【内容】 「包括ケアシステム コグニサイズ」「課題整理総括表・評価表」「ICFの視点」「グリーンケア・デスエディケーション」「認知症研修 パーソンセンタードケア」「成年後見制度」「口から考える介護予防～オーラルフレイル～」「介護予防ケアマネジメント業務研修」「多職種連携会議」を実施しました。</p>	4月12日（水） 5月17日（水） 6月21日（水） 9月20日（水） 10月31日（火） 11月15日（水） 12月14日（木） 2月21日（水） 3月1日（木） 全9回

平成29年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
区内合同主任ケアマネ向け連絡会	<p>【目的】厚生労働省より主任介護支援専門員としての役割を果たすには、多職種との連携や介護支援専門員に対する助言・指導や地域での活動等の実務を通じて、主任介護支援専門員として必要な知識・技術等を高めていくことが必要不可欠であり、地域包括ケアシステムの構築や地域包括ケアの推進など、主任介護支援専門員に求められる役割がこれまで以上に大きくなるが見込まれる」と通知されております。</p> <p>区内の居宅介護支援事業所における主任ケアマネジャーを対象に、主任ケアマネジャーとしての役割が担える事を目的に勉強会を年2回開催しました。</p> <p>【内容】講師を招き 「ファシリテーターについて～ケアマネジャーの研修会などで求められる役割～」の講義。2回目にファシリテーションが実践できる様に演習を実施しました。</p>	<p style="text-align: center;">4月21日(金) 6月23日(金) 全2回</p>

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
ほどがやケアマネット	<p>【目的】ケアマネジャー自主勉強会に対する地域包括支援センターの役割として、運営や研修に対する後方支援が位置づけられております。ほどがやケアマネットは年4回の研修を実施。役員会や研修前の打ち合わせなど会合あり。区内地域包括支援センター主任ケアマネジャーにて、輪番制で役員会へ参加して助言や提案をするなど後方支援に努めています。</p> <p>【内容】「総会・研修会(医療制度と在宅医との連携)」「ケアプラン自主点検を学ぶ」「訪問看護師とケアマネジャー 何でも話せる関係作り」「急性期医療の退院支援、診療報酬改定について」を実施しました。</p>	<p style="text-align: center;">5月25日(木) 7月27日(木) 10月19日(木) 2月9日(金) 全4回</p>